

めい&メシア 台本

● 1章

め「だからここは……ほら、このページ。

この解き方授業で習ったでしょ？

これを使うの。」

メ「ええ〜……。習ったつけ、こんなの……。

全然覚えてないよお。」

め「いや、習ってないことなんて、

宿題にならないから。

とにかく一度、これ見ながら解いてみて。」

メ「うう〜……。わかったよお……。

絶対解けないと思うけど。

ねえ、キミは？　ここ、わかった？

ノート見せてよ。……げっ、解けてるし……。

なんでわかるんだよぉ。」

め「授業聞いてれば普通わかるって。

というか、そこ基本の間だよな？

この後応用も出てくるんだけど……。

メシアに解けるの？」

メ「ああ無理。絶対無理。

もう解けませんでしたってことで、

空白で出したろうかな……。」

め「ダメだって。

夏休み明けの小テストやるって言ってたでしょ？

間違えてもいいから一度解いてみて、

解き方だけでも覚えておかないと。」

メ「間違える以前に答えにたどりつけないんだってばあ。

うううう……

めいはいいいねえ。頭いいんだもん。

あたしは勉強は全然ダメダメだからさあ。」

め「そんなことないよ。

授業を真面目に聞いてるだけ。

……ん？ 何？

キミもわからないところあるの？

どこ？ どの問題？ ああ、ここか……。

これはね、引っかけ問題みたいなモノで……。

ほら、ここ。この辺り、よく見みると……。

そうそう。そういうこと。

ね？ あとは普通に解いていくだけだよ。」

メ「……そうやって、人に解き方教えてあげれる時点で、

だいぶ頭いいよねえ、めいつて。

教え方も丁寧だし、背も高いし、おっぱいもおっきいし。

ママって呼んでいい？

お願い、ママ。代わりに宿題解いてえん。」

め「バカなこと言わないの。

宿題終わったら、おいしいスイーツ食べに行くって約束でしょ？

だからメシアもがんばって。」

メ「ううう。はあい、ママ。」

め「……ママって言うのもやめてほしいんだけど……。」

● 2章

メ「……もうダメっ。疲れたあ〜。

ちょっと休憩〜っ。」

め「もう休憩？」

さっきも休んでたでしょ、メシアは。」

メ「だってわかんないんだも〜ん。

大丈夫だって、すぐに続き始めるからあ。

ん〜……っ、っはあ……っ。

ねえ、ベッド借りていい？

大丈夫だって、寝るわけじゃないから。

ちょっと横になるだけ。

んう？ ああ、別に、男子のベッドだからって平気だよ、あたしは。

じゃ、お借りしますよ〜っと。

あゝ、勉強疲れ〜。お布団が気持ちいい〜。

ふうう〜……。」

め「まったくもう……。

ねえ、どうする？ 私たちも少し、休憩しちゃう？

ん、そうだよな。……もう少しでこの教科、終わりだもんね。

私たちはもう少しがんばろっか。

そうすれば、あとで二人でメシアに教えてられるもんね。

うん、じゃ、進めよう。」

メ「は〜あ……。二人とも、真面目だねえ……。

ふわあ〜……。

ああ、やば……。本気で眠たくなってきた……。

ん〜……まあいいや。

大丈夫大丈夫。ぬくもるだけぬくもるだけ……。

あ〜……、気持ちええ〜……。

……ん？ あれ……？

なんだあ……？ なんか、ベッドの脇に……。

お？ お？ これは……おお……っ。

エロマンガ発見……っ。

あんにやろう……。

女子二人が自分ち来るってのに、

こんな簡単なところに隠しやがって……。

警戒心皆無かあ？

うひひ……。

お勉強に夢中なようだし、こっそり見てよっと。

ええっと……『えっちでスケベな同級生たちとハメまくり交尾』……？

ほお……。ほおほお……。うっお……。えっぐ……。

これはこれは……なかなかのエロさで……。

てか、あいつ……こんなんが好きなの？

同級生って……完全にうちらみたいなもんじゃん……。

これがここにあるってことは……

もしかして、これで一発抜いたあとしてこと？

これをオカズにして、オナニーして……。

キンタマ空っぽにしてから、あたしたちと勉強会してたってわけか……。

あは、なにそれ。それってつまり、

抜かないであたしたちといっしょにいたら、

勃起して、ちんちん収まなくなつて、ヤバいつてことでしょ？

あいつ、あたしたちのことそういう目で見たの？

うわぁ、やっぱ……。狙われてたんだ、あたしたち……。

じゃあ、もしかしたら、この漫画に描いてあるようなこと、あいつと…

…。

フェラとか……。セックスとか……。

な、生ハメで、中出しとか……。

ん……。ふう、はぁ……。っ。

なんか、これ……。

勉強疲れのせいかな……。

ちょっと、ヤバいかも……。

はー……。ふー……。んっくう……。

はっ、はっ、んっは、ふう……。

はぁ、ふう、んっう……。っ。

だめだつて……。これ、ちょっと、本気になっちゃうつてえ……。

はー……。っ、はー……。っ。二人がそこにいんのに……。んっく……。っ。

止めなきゃ、だめだつて……。っ。

普段オナニーなんか全然しないのに……。っ。

なんで、今日ばかり……っ。

う……っ、布団の匂い……っ。あいつの匂い、する……っ。

すー……っ、すー……っ。

くっさぁ……。汗とか、なんか、いろいろ混じった匂い……っ。

オスの匂いって感じのお……っ。

この中に、もしかして……あいつの、ちんちんの匂い……。

精液の匂いとか、混じって……っ。んっう……っ♡

め「ん……あれ、ここって……。

どうするんだったっけ……。

ごめん、ここ、わかる？

うん、そうそう、ここ……。

……あ、そっか。それだけのことか……。

ありがとね、教えてくれて。

ふう……。

やっぱ、私も疲れてるのかな……。

でも、もう少しだもんね。うん、がんばろう」

メ「はっ、ふっ、んっぁ、はっぁん……っ。

んっ、んっ、んっく、んっは……。

ふっ、ふっ、ふううっ、んっううう……っ♡

あっ、んっ、んっあっ、やっあ……♡

だめ、だめ……っ♡ ここ、触っちゃダメ……♡

ホントにヤバイ……っ♡ スイッチ入っちゃう……♡

友達の、男子の家で……♡ 本気オナニーとか……♡

ありえんってえ……♡」

メ「んんっ……んあ、あん、んっ、あ、ああ、ううっ、うん♡

あん、あんっ、あ、あっ、うん、んっ、んっく、んっふ……♡

はっ、んっ、んっあっ、うっく……っ♡

はっ、あっ、んうあっ、んっううん……♡

だめ、だめ……っ♡ 濡れてきちゃう……♡

おまんこ、撫でてるだけなのに……♡

なんでこんな、あたし、興奮して……♡

あはあっ……ああんっ、あんっ、いや、やん♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

んっあ、やっあ……♡

ぞくぞくしちゃう……♡ うううっ、んうあ……♡

んあっ、あん、んくっ、んうっ……、んあ、ああん♡

あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ……♡

んっ、あん、んあ、あっく、んっく、いや、いあ、ん♡

んうっ、んあ、んあう……♡

だっめ、だっめ……♡ おまんこ、気持ちいい……♡

止まって、指……っ♡ 動いちゃだめえ……っ♡

あっ、ああああっ、あああっんんっああっ、あんんっ♡

あっ、あっんんっ、っいいっ、っいいっ、いいいあああ……っ♡

んっ、あっ、あう、んっ、んうっ、ひあ、っああ、んあう♡

んっく、くあ……っ♡

んっ、んっ、んっうんっ、くううあ……♡

パンツ、濡れて……っ。指、ぐちゅぐちゅしてえ……♡

だめ、だめ、ベッドに染みちゃう……っ♡

あいつのちんちんの匂いのするベッドに、

あたしの愛液、染み込んだじゃう……っ♡

おまんこの匂い混じっちゃう……♡ だめ、だめ……♡

あっ、あっ、っあああっ、んっ、ああああんっ♡

んっあああっんっ、んいっ、いいいいい……っ♡

ああ、あん、うん、うつふ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

はー……っ、はー……っ、はああああ……っ♡

ふっ、くうっ♡ だめ、全然足りない……♡

おまんこいじるより、興奮する方が、強くて……♡

もっといっぱい、おまんこいじくらないと……♡

指、もっと奥まで入れて、かき回して……♡

クリトリスとかもいじって、オナニーしないと、収まらない……♡

でも、そんなことしたら、本当に……♡

やっ、んっ、やっあんっ、んっああ……♡

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ、んふ、んっふ、ああ♡

ああ、ああん、んあん……♡

んっ、ああ、ああんっ、あんっ、いや、やん、んあう、あう、あん♡

あんっ、んあっ、んあうっ……♡」

め「よし、終わった……っ。

はあ、大変だった……。

キミは？ あ、最後の一回なんだ？

大丈夫？　ちゃんとわかる？

うん、そうそう、そこはそう……。

ふふ、ちゃんとわかってるみたいだね。

ほら、メシア。ちゃんと彼を見習わないと……。

あれ、メシア？　メシアは……」

メ「ん、つく、ん、んふう、んあ、あう……♡

ひあ、あ、んあつ、ああつ、ううあつ……♡

んあ、んう、あん、うん、あん、あん♡

ん、んあ、はあ、あふ、ふあつ……♡

んつ、あつ、あう、んつ、んうつ、ひあ、っああ♡

んあう、んつく、くあ……♡

っあ……っ、だめ、だつめ、んっあつ、くうっうん……♡

イクイクっ、イツちゃう……♡

おまんこいじって、甘イキきちゃう……♡

はっ、んっ、はあつ、っあああ……♡

んっ、あつ、あつ、あつ、あつ、あつああ……♡

んっうあつ、あつふっ、おっ、んっお、んうっ、んいっい……♡

はっ、はっ、んっふう、はあああ……っ♡

いっ、いっ、んっいい……っ♡

んひいっー?」

め「……メシア?

な、何やってんの……? そこで……」

メ「あ……っ。こ、これはあ……っ。

あは……。あははは……。」

● 3章

メ「こ、これはねえ、そのお……。

ええっとお、なんというかぁ……。

っ、疲れてたせいって言うか……。

あっ、ほ、ほらっ。このエロマンガっ。

こいつのだよっ!？ もちろん……っ。

ここ、こいつんちなんだし……っ。

これがなんか、妙にエロくてさぁ……っ。

っ、つい、魔が差したというかぁ……。

ムラッと来ちゃったというかぁ、ええっとお……。」

め「ふうん……。

魔が差して、ムラッと来ちゃったからって……。

友達の前で、オナニーしちゃうんだ？　メシアは。

へえ〜……。。

よりにもよって男子の家で……。

しかも、めちゃくちゃに盛り上がっちゃって。」

メ「も、盛り上がってなんかいいい？

全然、ちよこつと……。

ちよつと触っただけぐらいというか……。

うひゃっ！？」

め「この手。指……べちょべちょだけど？

こんなにしてるのに、

ちよこつと触っただけだって言っちゃうの？」

メ「い、いや、その……っ。

だから、それはあ……っ。

ひえっ！？」

め「すん、すんすん……。

すごいえっちな匂いがする……。

ほら、キミも嗅いでみて。

メシアのおまんこの、えっちな匂い。」

メ「ば……っ。ちょっ、だめだって、めいっ。

キミも嗅ぐなってえ。

あああっー？　くんくんするなっ。

このバカあつ。

ひいいいん……っ。」

め「わかる……？

こんなえっちなお汁が出てきちゃうくらいのおナニ、

メシア、そこでしてたんだよ……？

キミのベッドの上で……。

キミの布団に包まれながら……。

キミの匂い、たっぷり嗅ぎながら……。

おまんこいじり、してたんだって……。

えっちだよねえ……。

私たち、仲のいい友達だったはずなのに……。

こんなことされちゃったら……。

友達の間までいられるかなあ？

ふふふ……♡」

メ「何してんのよっ、めい……っ。

そんな耳元で、ぼそぼそ変なことおっ」

め「この手、おまんこの中に突っ込んで……♡

中のひだひだ、一枚一枚触って、こすこす……♡

おまんこいじりオナニー……♡

とろとろ愛液いっぱい出てきて、

どんどんえっちな音が鳴るようになって……♡

あん、あんって、喘ぎ声もたっぷりで……♡

布団の中で隠してたつもりだったみたいだけど、

最後には大きい声で喘いでたから、

すっかり聞こえるようになったちゃって……♡

もしかして……聞かせたかったのかな？

クリトリスこりこりいじって、絶対大声出るようなオナニーで、

キミに、えっちな喘ぎ声聞かせたくってさ……♡

それに、ほら……ベッド、見てみて？

さっきまでメシアが寝転んだところ……染み、ついてるよね？

あれ、何かわかる？ わかるよね♡

そう……おまんこのお汁……♡

オナニーいっぱいしちゃって、おまんこから溢れたえっちなお汁♡

あんなに汚しちゃって……♡

メシアのえっちな匂いがいっぱいしちゃうね、きっと♡

オナニーなんかしたら、あんなことになるのなんて、

考えればすぐにわかるのにねえ……♡

なんであんなことしちゃったんだろうね……♡

そういうことすれば、そんなことになってるって知ったら、

今みたいに……♡

キミのおチンポ、勃起しちゃうから……♡

勃起チンポ、見たかったのかもねえ……♡」

メ「ああもうっ。

あることないこと言うんじゃないのっ。

て、てか、キミもお……っ。

なんでそんな、お、おち、ちんちんっ。

勃起させてんのっ!?!」

め「それはもちろん、メシアのオナニーが、

おまんこの匂いも含めて、すぐくえっちだったからだよね？

メシアのせいで、彼、おチンポこんなにしちゃったんだよ？

責任取らないとだねえ……♡

ほら、ズボンの中でぱんぱんに膨らんじやって、

すっごく苦しそう……っ。♡

メシアのせいで、可愛いそう……っ。♡

ああ、可愛いそう……っ。♡

今オナニーしたいのはキミの方だよねえ♡

メシアのえっちな匂いとか、オナニーしてるところ思い出しながら、

いっぱいおチンポごしごししたいよねえ♡

熱々精液、どっぴゅんしたいよねえ♡ んふふ……っ。♡

メ「ううううう……っ。

何言ってるのよ、もう……っ。

くう……っ、オナニーしてたのは本当だけに、言い返せない……っ。

め「さあ、メシア。

責任取って、おチンポ、楽にしてあげよう？

彼のおチンポしこしこしてあげて、

メシアのせいで中に詰まった、熱々キンタマザーメン、

びゅー、びゅー、びゅーって……っ。♡

お射精させてあげよう？」

メ「な、ななな……っ。

何言ってるの、めい……っ。

そ、そんなこと……。で、できるわけ……っ」

め「出来るわよ、簡単に♡

ほら……こうして……♡

ズボンからおチンポ、出してあげて……♡

触っちゃうね？

ほうら、しこしこ、しこしこ……♡

ちんちんよしよし……♡

って、してあげるだけだから♡

キミもこれ、気持ちいいでしょ？ ふふふ……♡

さあ、メシアもやってみて♡」

メ「うiiiiiii……っ!？」

ちょ、ちよつと、めい、本気い……??

お、ちんちん、しこしこって……。

私たち、そういうんじゃないのに……??

てか、あんたも拒否んなさいよっ。

なに気持ちよさそうな顔してんのおっ。

うううう……。」

め「そういうのじゃない男子のベッドで

オナニー始めちゃったのは、どこの誰だったかな？

ほら、いいから早く♡

責任取って、おチンポしこしこ、始めるの♡

彼のおチンポ、どんどん大きくなってきてるよ？

メシアのオナニー思い出しながら、おチンポしこしこしてもらって、

こんなに勃起、進んじゃってるよ？

放置しちゃうのは、無責任すぎると思うよお？ ふふ♡「

メ「うう、くうう……っ。ああ、もうっ。

じゃ、じゃあ……っ。してあげるわよ……っ。

き、キミの、ちんちん……。

スツキリするまで、しこしこ……っ

うう……っ。ちんちん、すごく熱い……っ。

なんでこんなに硬くしちゃってんのよお……。

ばかあ……っ。

こ、こんな、こんなに硬くて……っ。熱々でえ……っ。

こ、こんなちんちん、見せられちゃったらさあ……♡

も、もう……♡

はっ♡ はっ♡ んっくぅ……♡」

め「しっしっ、しっしっ……♡

おチンポいいこ、いいこ、いいこお……♡

ふふふ……♡

もっと気持ち良くしてあげないとだね、メシア♡

さあ、私のマネ、してみてください♡

私と同じように、彼のお耳を……んうぁ……♡

はぁ……♡

こうして、ぺろぺろって……♡」

メ「み、耳舐めえ……!？」

聞いたことはあるけどお……っ。

ほ、ホントにすることになるなんて……っ。

はぁ、はぁ、はぁ……♡

んっう……っ♡

んっう、はぁ……っ♡

ど、どう……? 耳、気持ちいい?」

め「ふふ♡ うなずいてくれてよかったね、メシア♡

じゃあ、合わせていっしょに、してあげようね」♡

メ「う、うん……っ♡

行くよ……？ はっぁ……っ♡」

め「おチンポしこしこ、しこしこ、しこしこ……っ♡」

メ「ちんちん、しこしこ、しゅっしゅ……っ♡

ふう、はぁ、はぁ……っ♡」

め「ふふ……っ♡

おチンポすっごく硬くなってきた……っ♡

キンタマザーメン、熱々に煮え滾ってきてるんだね……っ♡」

メ「き、キンタマって……。

よく平気でそんなこと言えるよね、めい……。

わ、私、恥ずかしいよ……。」

め「そう？

ベッドでこっそりオナニーする方が、全然……っ♡」

メ「ああもうっ、わかったってばぁっ。

いちいち言うなっ。くううう……っ。」

め「ふふふ……っ♡

でも、そんな恥ずかしいオナニーも、

彼にとってはかなりのオカズになると思うのよね♡

だから……もっと、見せてあげたら?」

メ「え?……え、オナニーを……?」

なっ、あ……っ。

う、うそでしょ……?

オナニー、またしろってこと……?

き、キミの前で……?」

め「ふふ……♡

見たいんでしょ? キミも♡

メシアがオナニーするところ……♡

正直なところ、さっきはほとんど見れなかったものね♡

今度こそ、しっかりと……♡ スケベなオナニー、見たいのよね?

だから、ほら、メシア♡

オナニー……して?」

メ「うっくう……っ♡

ほ、ホントに見たいの? 私のオナニー……。

うげ……っ。う、うなずきやがった……っ。このお……っ。

ふー……っ、ふー……っ、ふー……っ。

わ、わかったわよ……っ♡

してあげる……♡ オナニー……っ♡

さっきも、イク寸前にバレちゃって……

実はちょっと、うずうずしてたし……♡

オナニーしてあげる……♡ 見せてあげる……っ♡

んっう、っああああ……♡

はあっ、んんあ、つくあ……っ、んうっああん、うん、あんっ♡

あっ、んあ、ああ……っ♡

ひい、あはあ、ううあっ……♡

ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

んっううん……っ♡」

め「ふふ、始まった……♡

よく見ててね♡ メシアのかわいいオナニー姿……♡

それでおチンポ、もっとドキドキ、ガチガチにしちゃってね……♡」

メ「んっ、はっ、んっううんっ、くうう……っ♡

ほら、見て……っ♡

こうして、っううん……っ♡

おまんこに指、ぐいって入れて、んっくう……♡

はっ、ああっ、おまんこ、いじいじい……♡

うっ、くっ、はっ、くうあ……♡

はっ、はっ、んうあっ、っううん……っ♡」

め「喘ぎ声、とってもえっちだね……♡

ああ、私まで興奮してきちゃった……♡

私も……オナニー、しちゃおっと……♡

んっううん……♡ はっ、んっ、っあああん……っ♡」

メ「なっあ……っ！？ め、めいまでオナニー、始めちゃってるう……っ。

き、キミってば、役得過ぎじゃない……？

友達の女子人分、オナニー鑑賞させてもらって、

ちんちんまで、しごいてもらって……♡

耳舐めも……っ♡

ちんちん気持ち良くなないと、嘘だよ、これ……っ♡

ほら、もっとちんちん、勃起させて……♡

もうここまで来ちゃったんだから、遠慮とか、意味ないでしょ……♡
いっぱいいっぱいちんちん硬くして……♡

大きいちんちん、かっこいいちんちん、見せて……♡

そうすれば、あたしたちも、んう……♡

それ、オカズにして、もっと……♡ ああああ……♡

もっと、おまんこオナニー、撚っちゃうから……♡

もっとえっちなオナニー、見せてあげられるからあ……♡」

め「おチンポとっても熱くなってきたね……♡

そろそろお射精したくなってきちゃったかな？

友達女子二人の、んっく……♡

ガチオナ鑑賞、おチンポ手コキ……っ♡

キンタマドキドキ、ザーメンどくどく……♡

おチンポお漏らし、しちやいそうだねえ……♡

タマタマから熱いの登ってきて、お射精ぴゅっぴゅ……♡

おチンポの中、濃いのが通って、気持ちよく出てきちゃう……♡

気持ちいいお漏らし、できちゃうねえ……♡」

メ「い、イクの……？」

ちんちん出ちゃうの？　しゃ、射精、するの……？

っううん、くっう……♡

うん、いい、わよ……♡　イツちゃって……♡

はっぁ……♡　わ、私も、今、い、イキそ、だから……♡

いっしょに、んっううん……♡

いっしょに、イこ……♡　はっぁあああ……♡

耳元でいっぱい、喘ぎ声、聞かせてあげるから……♡

耳も舐めてあげるからあ……♡　うっう……♡

ちんちん、イツて……♡

イツて、出して、射精してえ……♡」

め「うっく、うぐ、うあ、うあん、あん、はあっ、あはっ、あはあっ……♡

あっ、ああっ、あっ、はあっ、あんっ、あん、あんっ、やんっ、ふあっ

♡

あっ、あつい、んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ♡

あっ、あっ、あっ、あっ……♡」

メ「ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……♡

あ、あぁっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

んあ、んふう、うう、うあ、あう、んう、ん、んっく、くう……♡

んんんう……♡

んあっ、ん、んあ、あん、あぁ、あん、あぁ、んっ♡

んふ、んっふ、あぁ、あぁ、あぁん、んぁん……っ♡」

め「出して、出して、出して、出して……♡

おチンポイッて♡ お射精してえ……♡」

メ「ちんちんイケ♡ ちんちんイケえ……♡

出せ、出せ、出せ、出せえ……♡」

め「ん、んあ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ、いやんっ♡

あ、んっ、ん、んう、んっ……♡

やん、あんっ、いや、あん、あんっ、あう、うんっ、あ、んっ♡」

メ「んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

ん、あん、はあ、あぁん、うん、あんっ、あっ、んあ、あぁんっ♡

あぁ、あん、うん、うっふ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡」

め「んっく……♡ はっあああ……♡

んっ、あっ、あっあん……♡」

メ「んっいいいいん……♡ んっうっ、んっうっ♡

うっ、ぐっうっ、はっあんっ、くうっあっあああ……♡」

メ「はっ、くっ、あっくっ、うっくううう……♡

おまんこ、びくびく……♡

オナイキ、気持ちいい……♡

さっき我慢しちゃった分も、いっしょに来て……♡

いっばい、イッちゃった……♡

ガチキ声、聞かれちゃったあ……♡」

め「あああ……♡

キミも、メシアも、えっちすぎて……♡

私も甘イキしちゃった……♡ ふふふ……♡」

メ「ふっううっ……♡

はあ、はあ、はあ……♡

すごい、いっばい……♡ 射精してくれたね……♡

うわ……♡ あんなどころまで飛んじゃってる……♡

それに、はぁ……♡ 量も……匂いも……♡

精液臭、すっごお……♡ はっ、くう……♡

これ嗅いでたら、絶対、また……♡ っふっう……♡」

め「おチンポびゅーびゅー……♡

どくどく、どっぴゅんって……♡

やらしいお射精だったよ♡ ふふふ……♡

床、汚しちゃってごめんね♡

ごめんね♡ あとでいっしょにお掃除しようね……♡」

メ「はぁ、あ、んうん……♡

めちゃくちや恥ずかしかったけど……♡

なんか、楽しかったぁ……♡

んふふふふ……♡」

● 4 章

め「どうだった？

両耳から、友達の子女のイキ声、聞けちゃった気分は？

特にメシアは……ふふ、マジイキだもんね♡」

メ「う、く……っ。

いちいちそういう事言うなって……っ。」

め「だから、そんなえっちな声聞かせてくれたメシアに……

何か、ご褒美でもあげたらどう？

例えば……もっともっと、気持ち良くしてあげるとか……♡」

メ「は………？

めい、何言って……。

ひゃっ!？

なっ、ちよっ、何……っ。

なにマジな顔になってるの！？

ご、ご褒美とかいらないし……っ。

あっ、ちよっ、待って、うそっ。

顔、近……っ。んうっ！？

んっは……♡ はっ、あっ、き、キス……♡

んうっ♡

はっ、あっ、っああ……っ！？

き、キス……っ。うそお……。

き、キミと、ちゅー……っ。

えっちなちゅー、されちやって……。

あっ、待って、また……っ。

んっは……っ♡

はっ、はっ、はっあ……っ♡

だめ、だって……♡ そんな……♡

や……っ、腰、ぎゅってするの、だめ……♡

ホントの恋人みたいに、手、回すな……♡ ばかあ……♡

うっふ……♡「♡」

め「んふふ……♡

メシアったら、すごいかわいい顔♡

キス、気持ちいいんだ？」

メ「そ、そういうんじゃないい……♡

わ、私は、そんな……♡

あっ！？ ちょっ、そこっ、指……♡

うそ、そんなことまでするのっ？

や……♡

んううううう……♡

あっ、あっ、指っ、おまんこっ、んっああ……♡

キミにっ、おまんこっ、いじられてえ……♡

んっひいっいん……♡」

め「あは……♡ メシア、いっぱい感じちゃってる♡

今イッたばかりだからかな？

真っ赤な顔、とろけさせて、気持ちよさそう……♡」

メ「はっ、くっ、うっくっ、はっああ……♡

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ、んふ、んっふ♡

ああ、ああ、ああん、んあん……♡

んっうあっ、あっふっ、おっ、んっお、んうっ、んいいい……♡

はっ、はっ、んっふう、はあああ……♡

んんんんうう……♡

待って、待ってっ、指、止めて……♡

おまんこ、今、ヤバいの……♡

そんなっ、ぐちゅぐちゅ、搔き回されたらっ、

あっ、あっ、うっおっ、イック……♡

イクイク、イックう、おまんこイク♡

止まんない……♡

んうううああああ……♡

あっあああっ、うっくっ、んっいいいい……♡

ああっああああ……♡

やっあっ、んっううう……♡

イッた♡ イッたってばあ♡ イッたのにっ、んっうう♡

おまんこぐちゅるのっ、止めてっ、くんない……♡

っはあっ、っはあっ、んんんっ、はっ、ふう♡

っはあっ、ああああ……っ♡

はっ、ふっ、はっ、はっ、はあっ、んうあああ……っ♡

んうあああっ、ああああっ、あっ、うああっ♡

ああっ、んうあああ……っ♡

はっ、はあっ、ふうううっ、んうあああ……っ♡

はあっ、はあっ、んっあ、あああ……っ♡

指、太……♡ うっううう……♡

男の子の指……♡ 自分のと、全然違うの……♡

深いところまで入ってくる……♡

気持ちいいところ、届いちゃう……♡

あっ、うっ、イク♡ イクイク♡ またイク、おっおお……♡

んんっ……んあ、あん、んっ、あ、ああ、ううっ、うん♡

あん、あんっ、あ、あっ、うん、んっ、んっく、んっふ……♡

んいっくう……♡

ふっあああっあああ……♡ んっひ、んい……♡」

め「すごいねえ、キミ……♡

手マンするの、そんなに上手だったんだ……♡

なんだか私の方まで、ドキドキしてきちゃった……♡」

メ「うっ♡ うっ♡ イック、イック♡

またイクっ、またイクっ♡ んううっあっ、ううっおあああ……♡

キスされながらおまんこいじられるの、ヤバいのっ♡

幸せいっぱいになっちゃうの……♡

男の子にぎゅってされて、キスされて、

おまんこ気持ちよくされるの、だめ♡

やっ、やっ♡ おまんこ動いちゃう♡ おまんこ、腰へこ……♡

あっ、うううっ、またイク♡ またイク♡

イクイクイクイクっ♡ っあああ……っ♡

はっああっあああ……♡

おまんこイクっ♡ キミの指っ♡ うううっ♡

ああああ……っ♡

はっ、はあっ、んっあっ、はああ……っ♡

んっ、んっ、んっ、んうう……っ♡

んっうううっ、はっあああ……っ♡

待ってっ♡ お願いっ、もっ、イキたくないっ♡

くっうん……♡

気持ちよく、されまくって、も、だめなの……♡

んっ、あん、んあ、あっく、んっく、いや、いあん♡

んうっ、んあ、んあう……♡

やつ、やあっ、イキたくないっ♡

イキたくないっ♡ イキたくないっ♡

んっ、ああ、ああんっ、あんっ、いや、やん♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

イクイクイクイク♡

んっうううっ、ひっぐうう……♡

んうっ!?

んううううう……っ♡

んっうううっ、んっううううう……っ♡

っはっ、っはっ、はっ、はっああ……♡

まだ、止まんない……♡ 止めてくれない……♡

っふう、ふう、っはあ、はあ……っ♡

あっ、んっあ、んうああ……っ♡はああ……っ♡

あっく、んううう……っ♡ んっひいっ、はああ……っ♡

あつ、っはあつ、んううあつ、はああ……っ♡」

め「あは……♡

本当に、私も欲しくなってきた……♡

ねえ……♡ 私にも、キミの、あったかいの……くれるよね？

ふふ……おチンポ、こんなに勃起して、苦しそうだし……♡

おチンポフェラチオ、してあげるね♡

メシアのおまんこいじめながら、おチンポ、

いっぱい気持ち良くなってね♡

んっあ……♡

っはあ……♡」

メ「ううっいいいああ……っ♡

ちよっ、指っ、ぬちゅぬちゅっ、強い……っ♡

あつ、あつ、ちんちん興奮してっ♡

こっちまでえ……っ♡

このバカあ……♡

っはあつ、っはああ……っ♡あつ、あつ、んっあつ、はああ……っ♡

んっ、あっ、あっ、ああああ……っ♡

あっ、あっ、あっ、あっ、ああああ……っ♡

またイクまたイクまたイクまたイク♡

んっううう……っ♡

んうあっああっああああ……♡ あっく♡ んいああ……♡

これ、何度目……♡ も、わかんない……♡ っああ……♡」

め「ああ……♡ おチンポすっごく硬い……♡

手で触ると、感触、全然違って……♡

それに、味も……♡

おチンポの味、すっごく濃い……♡

お口の中に、男の子の味が広がるの、すっごく興奮しちゃう……♡

キミのおチンポの味と匂い……♡

おまんこ、濡れてきちゃう……♡

っはあ……♡ おチンポ、かっこいいよ……♡

硬くて臭くておいしいおチンポ、とっても素敵……♡」

メ「あああっ、ああああっ、っんんんっ、っああっ♡

んっ、んんっあっんんいつ、いいっ、いつああっ、あっ、っんん……♡

んっあっ、イクイクっ♡ またイクっ♡

もっ、ずっとっ、イックっ♡

止まれないっ♡ おっおお……っ♡

あっ、あっ、ううああっ、イックうう……♡

あっあっあああ……っ♡

くっ、ううっ、んっくっ、はっあああ……♡

おまんこっ、ヤバいっ♡ おまんこっ、気持ち良すぎちゃう……っ♡

待って♡ もっ、ホントにつ、っううん……♡

んっううううっああっ、っあっ、ああっ、っんんっ、んんっ♡

うっくっ、はっくっ、あっくう……♡」

め「んっく……っ!？」

キミ、おチンポ腰振り、始まっちゃってる……っ♡

私のお口、オナホにみたいに使われちゃってる……っ♡

はっああ……っ♡ んっあ、くっうう……♡

おチンポ、喉の奥まで入ってくる……♡

喉の締め付けで、おチンポ気持ちよくなりたいんだね……♡

いいよ……♡ いっぱい、してあげる……♡」

メ「うっ、あっ、っああっ、イグイグイグっ♡

ホントにつ、お願い……っ♡

わかったからっ、もうっ、いっぱいご褒美もらっちゃったからあ……っ

♡

気持ちいいからっ♡ キミっ、すっごく上手でっ♡

おまんこっ、っああっ、またイクまたイクっ♡

ううんうあっ、あっあああ……♡

んっあっ、イック、イック、ううああ……♡

くんっうんっあああ……♡

うっああっ、んっいいいいん……♡

へっ、へっ、へっ、へえっえああ……♡」

め「はっ、っくう……♡

おチンポかくかく、どんどん強く……♡

これ、もう……っ♡

本当にただの、イラマチオ……♡

喉まんこで、性欲処理に使われて……♡

ああ……っ♡

んっうっー？

っはあ……♡ ほら、来た……♡

私の舌の動き、待たない、ぐぼぐぼおチンポ……♡」

×「んっううう……っ♡

め、めいのことまで、そんな、ひどいこと……っ♡

キミ、そんな男の子、だったっけえ……っ♡

こんなっ、えっちなこと、上手で……っ♡

私もっ、めいもっ、俺のものだっ、みたいな……♡

強いオスみたいだなんて、全然、知らなくてえ……♡

んっううう……っ♡ またイクっ、またイクっ♡

っあああ……っ♡ 強いの来ちゃう……♡

あっ、あっ、んっうっ、あああ……♡」

め「ぶっは……♡

え、で、出る……ー！？

うん、わかった……っ♡出して、出して……♡

お口の中に、いっぱい、出してえ……っ♡

め「おチンポ、出して……♡

射精して、射精して……♡ このまま、出してえ……っ♡

メ「んいっぐっ、イッグっ、んううっ♡

イッグうう……♡ うっ、くっ、んいっくっ、イッグうう……っ♡

め「んっううっうううん……♡

んううっぶっ、んっぶっ、くっ、んっうううん……♡

んっうづっ、ふううう……っ♡

メ「おおっおお……♡ あっ、あっ♡

んっはっ♡ くっうううう……♡

はっ、あっ、おまんこっ、やっばあ……っ♡

め「んうあ……っ♡

んぶ……♡ んっぎゅっ、んっう、んぎゅっ♡

んぎゅっ、んぎゅっ、んっう、んぎゅん……♡

っはあ……♡ はあ、はあ、はあ……♡

ザーメン、濃厚……♡」

メ「ふー……っ、ふー……っ♡

おまんこ、がくがく、止まんない……♡

い、イカされすぎて、やばいって、んっっっっ……♡」♡

め「はあ、はあ、はあ、はあ……♡

んふふふふふ……♡」

メ「ふう、はあ、はあ、ふう……♡

んっくう……♡」

● 5章

め「おチンポ、小っちゃくなっちゃったね……♡
さすがに精液出し切っちゃったかな？」

メ「あんだけ出せばそりゃあねえ……。」

でも……なんか、それはそれでム力つくなあ。

こっちばかりイカされまくっちゃってさ。」

め「そうだねえ……♡

私もまだ、ちょっと物足りない気分だし……♡

ねえ、メシア♡

彼のおチンポ……また、勃起させてみない？」

メ「ん〜……。やる気はあるけど……。」

どうやって？

それはそれで、なんかやな予感するし……。」

め「そうだねえ……♡

やっぱり、男の子相手だったら……♡

これかな？

あは……♡ おっばい、見せてあげる♡」

メ「くぅ……♡、やっぱりそういう感じがぁっ。

あたし、めいほどおっばい大きくないし、

そういうの苦手なんだけど……。」

め「大丈夫だよ♡

男の子は、大きいおっばいも小さいおっばいも、

両方大好きなんだから♡

ほら、メシアも脱いで♡」

メ「うう……♡。くっそう……♡。

そらっ、どうだ、このおっ。

小っちゃくても笑うなよおっ。」

め「ふふふ……♡ 笑いはしないけど……。

その代わり、私たちのおっばい、ガン見しちゃってるよ♡

おチンポむくむく、膨らんできて……♡」

メ「でも、まだフル勃起ってんじゃあないよね……。

どうするの？ めい」

め「そりゃあもちろん……♡

おチンポにこうして、おっぱい押し付けて……っ♡

ごしごし、パイズリ……♡

ほら、ほら、ほうら……♡

おっぱいむにゅむにゅ……♡ 乳肉で、おチンポこすり……っ♡「♡

メ「くぅ……っ。また、巨乳じゃないとできないようなことを……っ」

め「小さくてもやり方はあるよ♡

ほら、がんばって……♡「♡

メ「はいはい、言われなくてもやりますよ。

私のおっぱい……小さいとはいえ、

ちゃんと乳肉付いてるんだから……っ。

むにゅむにゅ押し付けてやる……っ♡

ほら、ほら……っ♡ このっ、このっ♡

どうだ……っ♡

ちんちん、むにゅむにゅ……♡「♡

め「ふふ……♡

どう？ 巨乳と貧乳、ダブルパイズリ……♡

感触の違いも加わって、快感は2倍じゃ済まないよね……♡

メ「んっ、ふっ、はっ、んうん……っ♡

っくう、はぁ……♡

おっぱい、押し付けると……っ♡ 乳首、こすれて……♡

はっぁ……♡」

め「あは……♡

なるほど、メシアはそういう感じ方もしちゃうんだ……♡

いいこと知っちゃったね♡ ふふふ……♡」

メ「うるさいってば、めい……っ♡

さっきも地味に、貧乳とか言いやがってえ……♡

んっくっ、はぁ……♡

おっぱい大きいってだけで、調子に乗るなよお……♡

こっちだってえ……♡ んっぁっ♡

っは……っ♡

まだ、やり方はあるんだから……っ♡」

め「わぁ……♡

メシア、やるう……♡

ふふ、私もパイズリフェラ、してあげちやおうかな♡

あゝ……っ♡」

×「んっは……っ♡ はぁ、っふう……♡

おチンポ、すごい硬くなってんじゃん♡

んひひ……♡

さすがにダブルパイズリフェラは、効いちゃった?」

め「っふう……♡

そうだね♡ これならもう……♡

おチンポ、できるよね……♡ ふふふ……♡」

×「え?」

め「さっきから、私、興奮しちゃって……♡

おまんこうずうずしっぱなしなんだよね……♡

だから、その勃起おチンポ、ここに入れていいよ?

私のおまんこに、キミのおチンポ……♡

私と……セックス、しちゃお? ふふ……♡」

メ「なっ、何言ってるの!?! めいっ。

せ、せせせ、セックスって……っ♡

あたしたち、恋人同士でもないのにっ!?!」

め「んう……っ♡

んっぁ……っ♡

あはっ♡ キミも相当やる気だね……っ♡

いいよ、そのまま、中に……っ♡」

メ「ちょっとお!?!

いくらちんちんバキバキだからって、そんな即決……っ♡

てか、ゴムもしないで、生挿入って……っ。」

め「だって、コンドームなんて持ってないし……。

もしかして、メシアは持ってるの? あったら使わせてほしいなあ」

メ「も、持ってるわけないでしょ……っ。

男の子のうちに来るのに、コンドーム持ってきてるのバレたら、

こいつ、どんな期待してるんだってなるでしょ……。」

め「でしょ? 私だって、こんなことになるなんて思ってたし……。

メシアがあんなことするなんて、想像できないもん。

だから私だって、ゴムなんて持ってないよ。」

メ「だ、だからって、生ハメってさあ……。」

あ、危ないでしょ？ その、いろいろと……。」

め「そこは、まあ……。」

それもおとのお楽しみってことで……ね？

お待たせ♡ そういうわけだから、いいよ♡

おチンポ、そのまま入れちゃって♡

それに、キミはゴムなんてない方がいいでしょ？

おチンポ生挿入で、おまんこ味わいたいもんね♡

さあ、どうぞ♡ おチンポ、来て……♡

んうああっあああ……♡

んっううっ、はっああん……♡

はっ、くっ、うううう……♡

おチンポ、入ったあ……♡

はあ、はあ、っあああ……♡」

メ「あああああ……。入っちゃった……。」

生のちんちん、めいの中……っ。

ね、やっぱり抜いたほうがいいんじゃない？

なんならさ、ほら、せめて今からゴム、

買ってくるとか……」

め「んううっああ……っ♡

あつく、んううう……っ♡んっひいっ、はああ……っ♡

あっ、っはあっ、んううあっ、はああ……っ♡

んっうん……っ♡」

メ「人の話を……っ。ああもう、おっぱじまっちゃってるしいっ。

……ほ、本当に、セックス、しちゃってるんだ……。

二人とも……。

はー……、はー……っ。

ごく……っ。

すご……♡ ちんちん、ずぼずぼ、いっぱい……♡

ねえ……♡

めいのおまんこ、気持ちいいの……？

すごい必死に、腰振りしちゃってんじゃん……♡

めちゃくちや、えっちなんだけど……♡

ぬっぽ、ぬっぽって、すぐく出入り、いっぱい……♡

ちんちんに、めいのお汁、めちゃくちや絡んでるよ……♡

ちんちん、あっという間にびしょ濡れじゃん……♡」

め「っはあっ、っはああ……っ♡あっ、あっ、んっあっ、はああ……っ♡

気持ちいいん、だよね……♡ あは……っ♡

だって、すごく、おチンポ……♡

どくどく、脈打って……♡ んっうん……♡

んっ、あっ、あっ、ああああ……っ♡

あっ、あっ、あっ、あっ、ああああ……っ♡

おまんこ、えぐられちゃってる……♡

これ、すご……♡ キミのおチンポ、気持ちいい……♡

あっ、んっ、んっあんっ、っああ……♡

相性、いいのかな……♡ あは……っ♡」

メ「ちんちん、ずぼずぼ、どちゅどちゅ、ぱんぱん……♡

腰振りがっこいいね……♡

めい、すごくいっぱい、喘いじゃってる……♡

えっちな声、たくさん、たくさん……♡

キミの部屋で……おまんこ、どろどろにして……♡

ちんちん、受け入れて、喜びまくり……♡

エロすぎるよ……♡

キミも、めいも……♡

はーあ……♡ はーあ……♡ ふう、ふう、ふう……♡

かっこいい……♡ ちんちんピストン、すっごく上手……♡

はあ、はあ、はああ……♡」

め「んっ、あっ、おチンポ、硬い……♡

どんどんっ、大きくなる……♡ うっくう……♡

あっ、くっ、うううっ、っあああ……♡

すっごっ、い……♡

これっ、思ってたより……っ。っお……♡

余裕、なくなっ……♡ っあああ……♡

っはあっ、っはあっ、んんんっ、はっ♡

ふうっ、っはあっ、あああ……♡

はっ、ふっ、はっ、はっ、はあっ、んうあああ……♡

んうあああっ、あああっ、あっ、うああっ♡

ああっ、んうあああ……♡

はっ、はあっ、ふうううっ、んうあああ……っ♡

はあっ、はあっ、んっあ、あああ……っ♡

おチンポ、いい……っ♡

もっとっ、いっぱい……っ♡ おまんこ来て……♡

奥までいっぱい、どちゅどちゅしてえ……♡

おっ、おっ、あっ、っあっあああ……っ♡

腰振り、すごい……っ♡ ううっあああ……♡

おまんこっ、気持ちいいよっ♡

奥までっ、ずんずんっ、くうっうっ、はっあああ……♡

あああっ、あああっ、っんんんっ、っああっ、っんっ♡

んんっあっんんいっ、いいっ、いっああっ、あっ、っんん……♡」

×「ピストン早すぎ……っ♡

そんなに必死にめいのおまんこえぐっちゃって、どうするつもり……？

めいのおまんこ、自分のモノにしてやるぞって……♡

俺だけのオナホまんこにしてやるぞって、そういうこと……？

キンタマ、すぐくぱんっぱんになってんじゃん……♡

ここに溜まったザー汁、どばどば出すつもりなんでしょ……？

生ハメ、生セックスで、子宮いっぱい、精液中出し……♡

キミさ、もしもあたしらがゴム持っても、

つけるつもりなかったでしょ……♡

セックスするんなら生ハメ一択♡ 中出ししかないって♡

絶対種付けしてやるぞって、それしか考えてなかったんでしょ♡

だって、おまんこ気持ちいいもんね♡

生ハメおまんこ最高だもんね♡

子宮にドバドバザーメン吐き出すの、オスとして、

一番気持ちいい行為だもんね♡

オスが一番快感感じる、繁殖行為だもんね♡

本能レベルの快感なんて、逆らえるわけないもんね……♡

イクんだ？ 出すんだ？

ちんちんイッちゃうんだ……っ♡

めいの中で、おまんこの中で、精液びゅっびゅ……♡

出ちゃう、出ちゃう♡ イッちゃうイッちゃう……♡

射精来るっ♡ ザー汁漏れちゃう……っ♡

出る、出る、中出し、種付けえ……っ♡」

め「んっううううっああっ、っあっ、ああっ、っんんっ、んんっ♡

あっ、ああああっ、あああっんんっああっ、あんんっ、あっ、あっんん

っ、っいいっ、っいいっ、いいいいああ……っ♡

うううう……っ♡ イクっ、イックっ♡

おまんこイク……っ♡ ああああ……っ♡

出して、出してっ、うっくっ、出してえ……♡

はっ、くっ、うっくうっ、出してえ……♡

おまんこっ、中出し、びゆるびゆる、びゅっびゅう……♡

んっ、んんっうううっ、うああっ、あああああんっ、んっ♡

うっああああ……♡

あっ、うっ、あっ、あっ、イクイク、イックう……♡

んううあっああっあああ……♡

ううううっくっ♡ はっくっ、うっあああ……っ♡

んっうううん……♡

ふっ、うっ、うううっ、っおお……っ♡

濃い、たくさん、中に出てる……♡ あっくっ、はっあああ……っ♡

うっ、ふっ、んっううっ、はっああん……♡

はっ、ふっ、はっ、んうううう……♡ ふーう……っ♡「♡」

メ「ホントに中出ししちゃってる……♡

ちんちん、びゅー、びゅー……♡

友達の女子に、中出しって……♡ ヤバすぎじゃん……♡

全然射精止める気ないし……♡

全部出しきるつもりなの、丸わかり……♡

ちんちん一番奥まで突っ込んだまま、びゅー、びゅー♡

子宮の入り口にちんちん押し付けたまま、どっぴゅう……♡

こんなの絶対孕んじゃうじゃん……♡

学生なのに、さっきまで宿題してただけなのに♡

保健体育でも習わない、えっちのお勉強、最上級レベル……♡

100点満点の子作り射精、しちゃってる……♡

う、わ……♡

しかも……ちんちん、まだ元気って……♡

ね、これって……もしかしてえ……♡

んっぁ……♡

あは……っ♡ やっぱ、私も……♡

うわ、目、やば……♡ オスの目だ……♡

友達の女子のこと見る目じゃないよ、それ……♡

メス……♡ 孕ませられるメス見る目つき……♡

俺の女にしてやる……♡

孕ませて、俺の子供産ませてやる……♡

一生孕み袋にするの確定だって目で、見られてる……♡

んっう……♡

ちんちん、熱い……♡

だめ、だめ、入れちゃだめ……♡

生ちんちんだめ、ずっぶんだめえ……♡

孕ませ生ちんちん、生おまんこに入れるの、禁止い……♡

っああん……♡ あっ、うっ、んっうっ、はっああ……♡

入った……♡ 入っちゃった……♡

ちんちん、キミの……♡

セックス、しちゃったあ……♡

友達の男子と、生で、ガチハメ……♡

赤ちゃんできるかもしれない交尾、始まっちゃった……♡

うっ、くっ、んっうん……♡

はあ、はあ、はあああ……♡

あっ、あっ、っあああっ、んっ、ああああんっ♡

んっあああっんっ、んいっ、いいいいい……っ♡

っあああ……っ♡ おまんこっ、す……っ♡

めいの、言うとおりに……っ♡

キミのっ、ちんちん……っ♡ ヤバすぎ……っ♡

うっあああ……っ♡

あっ、あっい、んあ、ああん、あっ、あんっ♡

んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ……っ♡

ん、っく、ん、んふう、んあ、あう……っ♡

ひあ、あ、んあっ、ああっ、ううあっ……っ♡」

め「んふう……っ♡

私に中出した後に、すぐにメシアのおまんこ、ハメハメ……っ♡

友達二人のおまんこ、ハメ比べ……っ♡

キミがそんなヤリチンなんて、知らなかったなあ……っ♡

ほら、ほら♡ ぱんぱん、ぱんぱん……っ♡

どう？ メシアのおまんこの感触は。

私よりも小さい分、おまんこキツキツで、おチンポぎっちり

締め付けてきちゃうかな……？

浅い分、奥にもすぐに届いちゃって、

女の子の一番弱いところ……♡

子宮の入り口、どちゅんどちゅんっていっぱい突いて、

あっという間にとろっとろにできちゃうかもね……♡

いいよ、さあ、さあ……♡

もっとメシアのおまんこ、えぐっちゃえ……♡

キミのおチンポの味、忘れられないように、刻み込んじゃえ……♡」

メ「いいっあっ、んんんうっ、うっああっ♡

ああああっ、ああんっ、んんっ♡

んんんああんっ、あああっんんいいいいいいっ♡

っああっ、んんんっ、っううっ、うあっ、ああ……っ♡

っああああ……♡

待ってっ、待ってっ♡ これっ、無理……っ♡

これっ、オナニーとか、手マンとっ、全然違う……♡

ちんちん奥……っ♡ 中、いっぱいっ、どちゅどちゅってっ♡

気持ち良すぎる……っ♡

おかしくなる……っ♡ 変になる……っ♡

セックス、好きになっちゃうって……♡

あっ、くっ、うっくっ、はっあああ……♡

んっ、んっああっ、ああっ、っんっ、っああっ、あんんいっ♡

あああああっんっ、んううっ、うああっ、あっ、あっん……っ♡

ちんちんっ、膨らんでえ……♡

えっぐいカリ首っ、ひだひだっ、ごりゅごりゅ……っ♡

うっ、くっ、うっくっ、うううん……♡

おまんこっ、奥う……♡ いっぱい、押し込まれて……♡

あっ♡ ああっ♡ 硬いっ、先っぽ♡ ぐりぐり♡ んっひい♡

んあ、んう、あん、うん、あん、あんっ、ん、んあ、はあ♡

あふ、ふあっ……♡

熱いっ♡ おまんこ熱いよおっ♡ っあああ……♡

んっ、あっ、あう、んっ、んうっ、ひあ♡

っああ、んあう、んっく、くああ……っ♡」

め「メシアの小っちゃい腰を掴んで、思いっきり、ぱんぱんぱん……♡

オナホみたいに使っちゃうなんて、ひどいなあ……♡

おまんこの感触、ちんちんでたあっぷり味わっちゃってるんだね……♡

キミも、二度とメシアのおまんこの感触、忘れないようにって……♡
この感触思い出せば、

一生オナニーのオカズに困らなくなるからって……♡

必死に腰振りずぼずぼってして、

おまんこ、味わっちゃってるんだね……♡

なら、もっとおチンポ、強くしちゃえ……♡

メシアのおまんこ、もっと強烈にほじくって……♡

メシアにキミのおチンポの感覚、覚えさせて……♡

メシアの方から、キミのおチンポ求めるようにしちゃえばいいよ……♡

そうすれば、思い出しオナニーなんか必要なくなるよ♡

おチンポムラっとしたら、メシアの方からキミのおチンポ、

抜きに来てくれるように、改造しちゃえ……♡」

メ「んあっ、っんっ、んあっ、っんっ、んiiiiiiiiiiii♡

っあっ、ああああ……っ♡

んっううん……♡ うっおあっ、苦っううう……♡

あっああっ、くうううっ♡ ちんちん、刺さるう……♡

子宮っ、どちゅどちゅっ、うっくっ、うあああ……♡

一番奥、ううあああ……っ♡ あたしのっ、赤ちゃん作るところ……♡

いっぱい、責めてくる……♡ ぱんぱんっ♡ ぱんぱん……っ♡

おっ、おおっ、そこダメっ、そこダメえ……♡

ひっ、はっ、あっあああああ……♡

覚えちゃうからあ……っ♡ 子宮がっ、キミの形っ、覚えて……っ♡

それ以外ダメってっ、なっちゃうからあ……っ♡ だめえ……♡

うあっ、あんっ、ああああっんっ♡

ああっ、あんっ、っいいいい……っ♡

うああああっ、んんんっあっ、ああっんっ、んんあああんっ♡

っいっ、いいいいっいっ、いいいっあああ……っ♡

んっいいいい……っ♡

にやんでっ♡ そんなにやっ、強くっ♡ おおお……っ♡

もっ、おまんこっ、ヤバいのにつ、もっとお……♡

っああっあああ……っ♡「♡」

め「ふふ……♡

今のメシアの台詞の意味、わかるよね……？

そうしてほしいって、言ってるんだよ……♡

メシアは、自分のおまんこ、完全にキミ専用にしてほしいって……♡
ガンガン責めて、

キミだけのオナホまんこにしてほしいって……♡

だからあんなこと言って、おねだりしてるんだよね……♡

だから、いいよ……♡

しちゃえ……♡ メシアのおまんこ、キミだけのものにしちゃえ……♡

中出し、種付け、マーキング……♡

メシアの子宮に、一生剥がれない濃厚ゼリーザーメン、流し込んで……

♡

キミだけのおまんこ女にしちゃおうね……♡

お顔の前におチンポ出したら、お魚さんみたいにぱっくん啜えて、

ドスケベフェラチオ……♡

まんこ差し出せて命令したら、その場でおまんこすぐに濡らして、

お尻ふりふりおチンポおねだりするようなメスに

作り変えちゃおうね……♡」

メ「んうあつ、あああつ、んううあつ、ああつ、はっあああ……っ♡
うっああつ、んうああつ、イクイクっ、イックっ♡

だっめっ、はっああ………♡

イッちゃう♡ イッちゃう♡ ちんちんでイカされるっ♡

うっ、あっ、キミの精液っ、注がれる………♡

中出し来ちゃうっ♡ どっくん来ちゃう………♡

射精っ、孕ませっ、びゆるびゆるっ、びゅっくう………♡

あっ、あっ、来るっ、来るうっ♡

中出し来るっ♡ 逃げられないっ♡ 精子責め………っ♡

子宮にキミのっ、オスの子種汁っ、注がれて………♡

キミの味いっ、覚えさせられるう………♡

あんっ、んっ、あんっ、あんっ、んっ、ああんっ♡

あんっ、あああんっ、あんっ、あんっ♡

おっ、うっ、んうっあっ、っおお………♡

イクイクイクっ、んいっくっ、くうっうううん………♡

あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっああ………♡

うううあっああっあああ………♡

んっううあっ、くっうっ、はっああああん………♡

ふっ、あっ、んうああっ、んっいい………♡

中出し、どくどく………♡

ふっ、くっ、はっくっ、っああああ……♡

お腹、熱い……♡ うううつ、はぁ……♡

射精の勢い、ヤバすぎる……♡

こんなの、絶対、覚えちゃうじゃん……っ♡

もう……っ♡

はっ、はっ、はっ、うっう……♡

んっああ……っ♡

ふー……、ふー……♡」

め「はぁい……♡

おチンポどっぴゅん……♡ お疲れさまぁ……♡

ふふふ……♡

セックス、気持ち良かったね♡

女子二人のおまんこハメくらべなんて、

そうそう出来る事じゃあないよねえ……♡

貴重な体験できてよかったね♡

メシアに感謝してあげないと……♡」

メ「はぁ、はぁ……♡

あたしが始めたみたいと言うなぁ……♡

オナバレしたあと、えっちなことする雰囲気にしたのは、
めいでしょお……♡

人のせいみたいな言い方は……あれ……？

あ、うそ……。ちょ、キミ……、それ……。っ♡
「♡」

●
6
章

め「あ、あれ……？」

キミのおチンポ、それ……もう復活してる……よね？」

メ「ウッソでしょ……？」

さっきパイズリで勃起させてから、^ん発もだしてるんだよ……？

なのに、その大きさは……あっ！？

ちよっ、まっ、待って……っ！？

まだするの！？

無理無理っ。もうイケないって……。

これ以上はホントに……っ。

うっあ……っ♡

んっにやっあっあああ……っ♡

んっうっ、くっううううっ……っ♡

ちんちん、硬あ……っ♡

め「あ……っ♡

わ、私まで……っー？

っあああ……っ♡

おまんこ、ぐちゅぐちゅ……っ♡

くっうっ、ふっうう……っ♡

っあああ……っ♡

メ「あんっ、あんっ、んっ、あんっ、あんっ、あんっ、あんっ、あんっ♡

んっ、んっ、ああんっ、んっ、ああんっ、あんっ、んっ、ああ……っ

♡

ああんっ、ああんっ、あんっ、ああんっ、あっくう……っ♡

うっうっ、おっお……♡

おまんこっ、イキすぎて……っ♡

もっ、敏感だからあ……っ♡

ちんちんだっめ♡ ちんちんだっめ♡

おっお……っ♡

おっ、おおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ

♡

くううおおおお……♡

ちんちんっ、まだこんな硬い……♡

二発も出しといて、なんで、っおお……♡

だめっ、なるっ♡ ほんとになっちゃう♡

このちんちんで責められ続けたらっ、本当に……♡

おまんこっ、堕ちちゃう……♡ キミのものにされちゃう♡

んおっおおお……♡

おほおっ……おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう♡

おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ……♡

ちんちん♡ 好きになっちゃうからあ……♡」

め「き、キミ……っ♡ 本当に、えっちの才能……っ♡

すごいんだ……っ♡ くっくうう……♡

セックスで、本気になって……♡

おチンポ全然萎えない、強いオスに……っ♡

覚醒しちゃったあ……♡ っあああ……♡

おまんこっ、完全に………♡

キミにっ、支配されちゃって………♡

っああ……っ♡

はっ、くぅ………♡

おまんこっ、おチンポで敏感にされて………♡

手マンでも、こんな、んっああ………♡

んあっ、あん、んくっ、んうっ………、んあ、ああん、あっ、あんっ♡

んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ………♡

おまんこほじほじ、すっごいの………♡

んっううう………♡」

メ」おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお、んおっ♡

おっ、おっ、おっ、おっ………♡

ちんちんおつきいよお………♡

奥っ、奥っ♡ ずっと当たってるっ、おっおおお………♡

後ろからっ、どちゅどちゅっ♡

バックでっ、動物交尾いい………♡

っああああ………♡ レイプっ♡ こんなのっ♡

ただのっ、レイプじゃあん……っ♡

あっ、あっ、あっ、おっおおお……っ♡

ん、っく、ん、んふう、んお、おう……っ♡

んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ……っ♡

んお、んう、おん、うん、おん、おんっ♡

ん、んお、ほお、おふ、ふおっ……っ♡

んっいいいい……っ♡ レイプちんちんっ♡

気持ち良すぎいい……っ♡

んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひいっ、っおお♡

んおう、んっく、くお……っ♡

ほおっ、んんお、っくお……っ♡

んうっ、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おお……っ♡

子宮っ、ごりゅごりゅ……っ♡

おっ、おおおっ、うっおおお……っ♡「♡

め「んっ、あんっ、ああああんっ、あああんっ♡

ああんっ、ああああんっ、あんっ♡

んっは……っ♡ はっ、はっああ……っ♡

だめ……っ♡ 強い……♡

キミに、勝てない……♡ 私……♡

キミの女にされちゃってるぅ……♡

あんっ、ああんっ、うあんっ、ああんっ、うんっ、んっ、あんっ♡

っあああ……っ♡

なっっちゃう♡ なっっちゃう♡

従順なメス……♡ 本気で堕ちちゃう……♡

おまんこ屈服……♡

メス媚びまんこに作り変えられちゃってるぅ……♡「♡」

メ「んっおっ、んっくっ、ほっおおっ、んっうっ……♡

んっうお……っ♡ お尻……っ♡

お尻っ♡ 掴まれて……っ♡ んっひい……♡

ううっ、おおおっ、んおっ、くう……♡

だめっ、だめっ♡ お尻っ、揉み揉み……♡

ひい、おほお、ううおっ……♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお……♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう……♡

んお、うつふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

はっ、はっ、はっ、くっう……♡

いっや……♡ お尻、拡げないでえ……♡

うっううん……♡

ほっ、うう、んっあ……♡ 恥ずかしい、からあ……♡ うううん……♡

♡

そんなこと、されたら……♡

お尻の穴、見えちゃうってえ……♡

んっ、くっ、はっあ、やっああ……♡

変態い……♡ 変態っ、へんたっ、っおおお……♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ♡

おお、おお、おおん、んおん……♡

んうおお……♡

こんなのでっ、ちんちん、硬くして……♡

おっ、おっ、んうっおっ、くっおお……♡

んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おお、んっ、うん♡

おんっ、お、おっ、おんっ、やんっ、おお、うおんっ♡

変態♡ 変態いい……♡ 変態ちんちん♡ おっきすぎい……♡

んっ、おん、んお、おっく、んっく、いや♡

うお、ん、んうっ、んお、んおう……♡

お尻、んっううう……♡ 触られてるところまで、感じちゃう……♡

おまんこの奥突かれて♡ 身体中、敏感にい……♡

んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう♡

おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ……♡「♡」

め「っふう、っふう……♡

キミってば、ひどいんだから……♡

いくらメシアがおっぱい、小さいからって……♡

お尻、そんなにいじめちゃうなんてえ……♡

もしかして、前から狙ってた……？

メシアのお尻、触ったり揉んだりしてみたって、思ってた……？

んっううん……♡

図星、かな……？ 今、おまんこに入ってる指……っ♡

ぴくんってしたよ……？ んっああ……♡

もしかし、てえ……♡

ふっ、くっ、はっああ……♡

触るとか、揉むだけじゃあなくって……♡

お尻の穴にまで、おチンポ入れてみたいとか、考えてる……？

ふふふ……♡

それも、いいかもねえ……♡

おまんこどころか、お尻の穴までキミのもの……♡

アナルセックスで、メシアのこと、ぶっ壊しちゃおっか……♡」

メ「んいいい……♡

ちんちん、びくくうって、大きくなって……♡

これ、図星ってことじゃないの……♡ おほお……♡

キミってば、そんなこと、考えてたんだあ……♡

お尻えっちとか、そんなの、マジで変態じゃん……♡

ちんちん、あたしのお尻に突っ込んで、ちんちんピストンとか……♡

お尻の中の形まで、自分のちんちんの形にしたいとかあ……♡

ダメだよ、そんなことしたら……♡

いくらキミ相手だからって、お尻えっちは、ホントに……♡

んうおおおおおおお……！？

おっおおおっ、うっおおおっ、ほおおおっおおお……♡

おまんこっ、激しっ、ちんちんっ♡

どっちゅどっちゅう……♡ うおおっおお……♡

キミっ、あは……っ♡

そんなっ、照れ隠しピストン……っ♡ うおおお……♡

へっ、へっ、らめっ、だっめっ、だっめえ……♡

でもっ、好き……っ♡

ちんちんずぼずぼ好きっ、しゅきい……♡

キミに犯されるの好きっ♡

ちんちんでおまんこいじめられるの好きいい……♡

もっとしてっ、もっとしてっ♡

ちんちんで奥っ、子宮の入り口っ、ぬちよぬちよにつ、犯してえ……♡

おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふお……っ♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお……♡

おおおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう……っ♡

お尻はだめだけど……っ♡

代わりに、おまんこ……っ♡ 一番奥まで、全部う……♡

使っていいからあ……♡ おおっおおお……っ♡

うっううっう……♡ おまんこっ、ちんちん、締付けえ……♡

ちんちんぎゅうぎゅう、おまんこ肉が、吸い付いて、離れない……♡

もう、ホントに……♡ 作り変えられちゃってるう……♡

おまんこ、完璧に、キミのもの……♡

うつく、うぐ、うお、うおんっ、おん、ほおっ、おほっ、おほおっ……

♡

おっ、おおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん♡

おんっ、やんっ、ふっおお……っ♡「♡」

め「あっ、んっうう……♡

はっ、はあ、ふっうう……♡

キミ……っ♡ 出すつもり、でしょ……♡

おチンポに負けて、とろけきった、メシアのおまんこに……♡

凶悪お射精、中出し、種付け……♡

オスとして、メスを孕ませるための強烈子作り射精……♡

どろどろ濃厚ザー汁……♡

子宮にどっぷり流し込んで、赤ちゃん作る気なんだ……♡

んっうう……♡

あっ、はあっ、私もっ、おまんこ……♡

ほじほじされて、イッちやいそう……♡

あっ、あっ、指っ、ふっとい……♡

おまんこっ、入り口っ、ひっかかって……♡

っああ……♡

あっ♡ あっ♡ だめ♡ 指、ひっかかるところ♡

こりこり♡ だっめえ……♡

あっ、あっい、んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ♡

あっ、あっ、あっ、あっ……♡

そこ♡ 弱いところなの♡

のスポット♡ おまんこ絶対、気持ちよくなっちゃうところお……♡

ん、っく、ん、んふう、んあ、あう……♡

ひあ、あ、んあっ、ああっ、ううあっ……♡」

メ「んお、んふう、うう、うお、おう、んう、ん、んっく、くう……♡

んんんう……♡

んっおおっ、イッグっ♡ イッグっ、イッグうう……♡

ほっおおお……♡

おまんこイッグっ♡ おまんこイッグ♡

ほっおおっ、うっおおお……♡

出してっ、出してっ♡ どくどくっ、びゅっびゅ……♡

もうっ、わかったから♡ キミの言いたいこと、わかったから♡

産むっ♡ 妊娠する♡ 赤ちゃん作る……♡

孕ませてくださいっ♡

赤ちゃん作ってえっ♡ うううっ、おおお……♡

産みますっ♡ キミの赤ちゃんっ♡

産むからっ、孕ませてっ、孕ませてっ♡

おっ、おっ、ほおおおっ、うおおおおお……♡

んっおおおっ、イグイグっ、んいっぐっ、うっおおおお……♡

くうおっ、ほっおおおっ、うおおお……♡

子宮これだけ押し込まれたら、もう、無理だから……♡

ちんちん逆らえない♡ おまんこ言いなり、なっちやうよお……♡

ほおっ、んんお、つくお……っ、んうっ、おおん♡

うん、おんっ、おっ、んお、おお……っ♡

イグイグイグイグっ、おっおおおっ♡

んいっぐうおおおお……♡

孕ませ生ちんちに♡ おまんこ屈服させられてイグ……♡

イググ♡んいっぐ♡ぐっぐうう♡ふっぐおお……♡
おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おおおおお……♡「♡」

め「んうあっあああ……♡

あっ、あっああっ、うっくうおっ、んうあっあいいい……♡「♡」

メ「んいいいいいん……♡

んううっおおっ♡ほおおっおおっおお……♡「♡」

メ「はっ、はっ♡出てるっ、精液い……♡

子宮いっぱい、どぐどぐっ、中出し……♡

っあー……♡

種付け、止まんない……♡デキてる♡デキちゃってる♡

これ、絶対、赤ちゃん……♡

孕んでるう……♡

ザーメン濃すぎだよお……♡うううおお……♡

どぶどぶ、ぶっぴゅう……♡

うっ、うっ、うっ、うっうう……♡

ほっおお……♡へっ、はっ、はっ、はっあ……♡「♡」

め「んっぁ……♡

や、やっぱり私もするんだ……♡

キミに、犯されちゃうんだ……♡

おっきいちんちんで、どちゅどちゅって、子宮、ほじられて……♡

赤ちゃん、植え付けられちゃう……♡

メシアみたいに、おまんこ全部、キミのものにされて……♡

孕ませてくださって、自分で言うまで、おまんこ調教レイプ♡

されちゃうんだぁ……♡

ああ、来る、来る、おチンポ来るう……♡

おおおおっおおお……♡

敏感おまんこ……♡ おチンポ、ずっぷりい……♡

おおおっおおお……っ♡

うっうう、深い……♡ いきなり、奥う……♡

手マンでごりごりに敏感にされたおまんこに♡

つよつよおチンポお……♡

んおっ、ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ♡

んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん……っ♡

ん、んお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ、おおっ♡

んっ、んぐっ、んう、んっ……♡

おチンポ♡ 強い♡ ピストンも♡ えっぐう……♡

堕としに来てる♡ おチンポで、おまんこ♡ 支配しに♡

ううっおお……♡ くっ、うっ、ほっおお……♡

やだ♡ いや♡ 負けないから♡

私は、メシアみたいにすぐに、負けるなんてえ……♡

んっおおっおお……♡「♡」

メ「んっう……っ♡ はっあ、ああ……♡

ちよっとお……♡ 孕ませ済みの女、抱き寄せて……♡

何する気い……♡

あっ♡

っはっ、はあ、キスう……♡

気持ちいい……♡

はっ、ああ……♡

口の中まで、キミのものに、されちゃって……♡

んぐっ!?!

んっう……♡

口ん中っ、指でっ、ぐちゅぐちゅってえ……っ♡」

め「ううっ、おっおお……っ♡

顔っ、見えないっ、セックス……っ♡

ホントに犯されるみたいで……っ♡

レイプされちゃってるみたいで、興奮する……っ♡

んっ、はっ、おまんこっ、使われてるって感じで……っ♡

うううん……っ♡ おっ、くっ、ふっう、おっお……っ♡

いいよ、いいよお……っ♡

おチンポもっと、ぱんぱんぱんって……っ♡

んうおおお……っ♡

ぐりぐりっ、奥……っ♡ くううっ、ほおお……っ♡

おチンポで責めて……っ♡

ぬっちゅ、ぬっちゅ、うっうう、ほっおお……っ♡

私のこと、落としに来て……っ♡ っああああ……っ♡

んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ♡

おお、おお、おおん、んおん……っ♡

うっくう♡ おチンポ、ホントに強い……♡

はっ、っあああ……♡ 子宮♡ 甘く、とろかされて……♡

おっ♡ んっおお♡ っくおおお……♡

んっいい……♡ おチンポ、すっすぎ……♡

んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おお、んっ、うん、おんっ♡

お、おっ、おんっ、ゃんっ、おお、うおんっ♡

あっああ……♡
「♡」

メ「ぶっへあ……♡

もう、キミい……♡

ザーメン詰め込んだおまんこ、手マンできないからって……♡

口ん中、指で搔き回すって……♡

それ、完全にヤリチン男のムーブだよお……♡

あっ♡

はっ、くっ、んっうん……♡

でも、なんかあ……♡

こんなんでも、気持ちいい……♡

「一回屈服しちゃったオスに、口の中でも、めちゃくちやにされるの……♡

ドキドキするぅ…………♡

でも、キミの指、舐めてると…………♡

ちんちん舐めてるみたいで、おまんこ熱くなっちゃうよぉ…………♡」

め「んっ、いや、おん、おんっ、おう、うんっ、お、んっ♡

んっうん…………♡

あはっ、おっぱい、やっと来たぁ…………♡　っああぁ…………っ♡

いつ来るのかなって、待ってたんだよ…………♡　はっああぁ…………っ♡

あっ、やっ、すごいっ、揉み揉み…………♡

おっぱい、ぎゅっぎゅう…………♡　すごい力で、揉まれてる…………♡

んっ、あっ、あっ、やっああ…………♡

おまんこぱんぱんっ、犯しながら…………っ♡

おっぱいもお…………♡　ああぁ…………っ♡

後ろからっ、突かれて…………♡　後ろから、おっぱい揉まれて…………♡

はっ、んっ、ヤリチン男に犯されてるみたい…………♡

んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

ん、おん、ほお、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おおんっ♡

あっ♡　あっ♡　やだ、興奮しちゃう…………♡

強いオスに犯されてるって感覚……♡

ぞくぞくってえ……♡

おお、おん、うん、うつふ、うん、おほ、おんっ、おんっ♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ、おお♡

おお、おおん、んおん……♡

ふっう、ふっううっ♡ 乳首っ、立っちゃう……♡

勃起乳首っ♡ えっちな乳首っ、なっちゃうっ、くっううん……♡

あっ♡ んうあっ♡ 乳首弾いちゃだめ……♡

そんなことしたら、もっと、おまんこえっちになっちゃう……♡

乳首いじられて、おチンポきゅんきゅん締め付けちゃう♡

んっお、ほっおお……♡ 乳首だめ♡ 乳首だめ♡

えっちな乳首♡ いじいじないで……♡ やっあ……♡

乳首でおまんこ♡ 落とされちゃう……♡

おまんこだけなら耐えられるのに♡ 乳首といっしょは♡

おまんこ、負けちゃうからあ……♡

おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふううお……♡「♡」

×「んもお……♡」

やっぱキミ、おっぱい好きなんだぁ……♡

私の尻肉、あんなに揉み揉みしたくせに、

めいにはおっぱい揉み揉みなんてさぁ……♡

ひどいなぁ……♡

どうせあたしは、貧乳ですよぉ……♡

っへぁ……♡

ほら、だったらいっぱい、おっぱいいじめちゃいなよ……♡

めいの勃起乳首掴んで、引っ張って♡

ぎゅうぎゅうぎゅうぎゅって……♡

おっぱいとおまんこ、いっしょにいじめたらさ♡

さすがのめいも、絶対イッちゃうよ……♡

いっぱいイカせちゃお……♡

下品な喘ぎ声出しまくりの、おまんこアクメ……♡

させちゃおうよぉ……♡「♡」

め「んっうおっ、おっふ、っくうう、んうああ……っ♡

んいっ、んっひい……っ♡へあっ、ふあっ、あっふ、んっい……っ

♡

っもおおっ、んっううおおっ♡

乳首っ、そこっ、くううっ、ああああ……♡

乳首っ、くりくりっ、気持ちいいっ♡

ほおお……♡

うっ、くっ、ほっおおっ、んっいいい……♡

おまんこっ、締まっちゃう……♡

乳首いじられてっ、おまんこっ、むぎゅうってえ……♡

おおおっ、っんんんおっ、おおおおっ♡

おうっ、んっおっ、おんんっおおおっ、っんん……っ♡

キミのおチンポっ、おまんこがっ、好きになって……♡

ぎゅうぎゅう締め付けっ、セックスご奉仕モードになってるう……♡

おおっ、んっおっ、うっおお……♡

おまんこっ、勝手に……♡ おチンポっ♡

迎えに行っちゃう……♡

強い腰振りにっ、お迎えおまんこ……♡

おチンポとおまんこっ、一番気持ちいいズボハメできる角度っ♡

おまんこの方からっ、求めちゃって……♡

んっ、んっうっ、おっ、っんっ、おっ、おおっ、おおおっ♡

っうっ、んんっ、っおおっんっ、んっ、おっ、おおっ♡

っんっ、んうおお……っ♡

んっ、っうっ、おっ、おおおっんんんっおおおうっ♡

おおおっうっ、んんおおおっんんっ、んお……っ♡

おおおっおおおお……♡

おチンポすごいっ♡ 本気ピストンっ♡

おまんこっ、完璧にっ♡

キミの形にっ、変えられてえ……♡

入口も♡ 一番奥も♡

キミのおチンポ以外入らない形にされちゃってる♡

おおっおおお……♡ セックス好き♡

キミのおチンポ、ハメハメされるの好き♡ 好きっ♡

おっ、うっ、おっおっ♡ ほっおおお……♡

来る……っ♡ 来ちゃう……♡

おまんこアクメっ、どんどん、こっちに……♡「♡」

メ「出しちゃうんだ……♡♡

めいのおまんこにも、孕ませザーメン……♡♡

友達だった女子、二人とも……♡

自分の赤ちゃん産ませるためのつよつよお射精……♡

もう、友達じゃいられないね……♡

恋人……？ セフレ……？ それとも、奥さん……？

ううん……♡ もっと単純な、メス……♡

赤ちゃん産ませてくださいって♡

おまんこベタ惚れしちゃってるメスに……♡

されちゃうんだあ……♡

うん♡ うん♡

なる♡ なる♡ 私たち、二人とも……♡

キミの、メスになる……♡

キミのちんちん、全部受け入れて……♡

中出しザーメン全部、受け止めて……♡

赤ちゃん何人でも、産んであげるう……♡」

め「おおっ、おおんんっ、っおおおっ♡

おおおっうっ、うっ、っおっ、おおおっうっ♡

っんんんおおおっんっ、んおっ、おっ、おっんんん……♡

んっ、んうっおっ、んんっおっ、っうっ、っうっ♡

っおっ、おっ、おおっうっ、んんおっ、おおおっんんっ♡

おっ、っんん…っ♡ っおおっ、イッグっ、イッグっ♡

おまんこイッグっ、イッグううう…っ♡

赤ちゃん孕まされてイッちゃう…っ♡

ママにされながらイッちゃうよお…っ♡ はっあああ…っ♡

うんっ♡ うんっ♡ いいよおっ♡ 出してえっ♡

あっ、ぐっ、硬いおチンポっ、子宮にぶちゅりっ、押し付けて…っ♡

精子いっぱい、子宮、注ぎ込んで…っ♡ おっほ…っ♡

絶対、確実っ♡ 孕ませ射精い…っ♡

子作りおチンポでっ、孕みたがりのおまんこ子宮っ♡

いっぱいイかせてえ…っ♡

んっ、んうっ、おおおおおっ、んっ、んっ、っおおっ、おうっうっ♡

おおおっ、おおっ♡

うっ、っんんんっおおおっ、っんっ、っおっ、おっ、んんっ…っ♡

うおおっおおお…っ♡

イグイグイグっ、ほおおおっ、イッグうお…っ♡

おっんっおっ、おうっ、うっ、おっ、おうっ、っんっ、んっおお…っ♡

♡

おおおっ、んんっ、おおおおお……っ、んんんっ、んうおっおお……っ

♡

おっ、おっ、おっ、んっおおお♡

ううううっ、おおおっ、んおおお……♡

イグっ♡ イグっ♡ いぎゅっ♡ イッグううう……♡

んうおおおっおおお……♡

ほおおおっ♡ うおおっおおお……♡

うっ、くっ、ほおおおっ、うっおおお……♡

はっ、あっ、んうっおっ、ううう……♡

中出し、射精いい……♡ 強いっ、くううう……♡

孕むっ、孕むっ、赤ちゃんっ、ホントに……♡

子宮に、べっとり……♡ 赤ちゃん汁っ、流し込まれてえ……♡

はっああああ……♡

どくどくって……♡ いっぱあい……♡

っああ……♡ 止まらない……♡

どろっどろの濃厚オス汁……♡ おチンポびゅーびゅー……っ♡

これ、ホントに孕んじゃう……♡ 赤ちゃんデキる……♡

キミの赤ちゃん……♡ 屈服子宮で、妊娠する……♡

ふっう、ふっう、ふうううっ、くうううう……♡

んっおお……♡ ふっ、はっ、はっああ……♡」

メ「ぷえあ……♡

はー……っ、はー……っ、はーあ……♡

あはあ……♡

セックスう……♡ 最高お……♡

んふふふふ……♡」

●
7
章

め「はあ、はあ、はあ……♡ ふふふ……♡」

メ「もう、ヤバかったあ……♡

おかげでめちやくちゃ疲れちゃったじゃん……♡

宿題の途中だったのに……♡」

め「メシアがオナニー始めちゃったせいでしょ？

まあ、確かに……ここまでめちやくちゃにされるとは、

私も思ってたけど……♡

キミのおチンポ、かっこよすぎだよ……♡」

メ「うん、ホント……♡

おかげで私、キミのおチンポ、大好きになっちゃった……♡

大丈夫な日じゃなかったら、マジで孕まされちゃってたよ……♡」

め「ふふ……♡

キミのおチンポ喜ばせるための演技ってわかってても……♡

赤ちゃん孕ませて♡は、すごかったでしょ？

キンタマ汁、どんどん熱々になっちゃって……♡

おチンポ大変だったね……♡」

メ「ホントホント……♡

もうちょっとで本気になるところだったあ……♡

マジで危なかった……♡

もう少しでさあ……♡ こんな風に……♡

っはあ……♡

らぶらぶちゅっちゅ、したくなっちゃうぐらいのマジ恋♡

しかけちゃったんだからね……♡

っは……♡ んふふ……♡」

め「そうだねえ……♡ 私もお……♡

っはあ……♡

恋人キス、キミといっぱいしたくなっちゃうところだったあ……♡」

メ「私たち、友達だもんねえ……♡

こんなあ……♡

唾液交換濃厚ディープキスするような関係じゃ、ないもんねえ……♡

こんなベロキス、いっぱいするのは……♡

マジで赤ちゃん孕んだっていいってぐらいの、

超らぶらぶの恋人同士限定だもんねえ……♡」

め「今の私たちは、ただの友達……♡

ちょっとえっちしちゃったぐらいで、

ガチ恋なんて、ありえないもんね……♡

いくらこんな、ドスケベろちゅー……♡

好き好きキス、しまくってても……♡

絶対赤ちゃん孕んであげちゃう♡　なんてこと……♡

思わないよねえ……♡」

メ「っはぁ……♡　でも、すっごく気持ち良かったのは、ホントだよ……

♡

またしたいかも……♡

もちろん生ハメ、生中出し付き……♡

お口もおまんこも全部使って、最高の交尾……♡

してみたぁい……♡」

め「でもその前に、ちゃあんと宿題しないとだね……♡

特にメシアは、まだ途中でしょ？

途中で休んで、オナニーなんかしちゃったせいで♡

私たちはもう、終わったも同然なんだけど……♡」

メ「そ、それは……。」

そうだけど……。」

め「そうだ……♡

メシアが宿題やってる間、私たちだけでイチャイチャしてよっか♡

メシアの宿題終わるまでに、おチンポ回復できるかどうか、とか……♡

さっきのメシアみたいに、お布団の中で、見えないように、

えっちなこと、いっぱいして……♡」

メ「だめだめ……っ。」

そんなこと、絶対だめ……っ♡

宿題はちゃんとやるから、めいたちも何か、

他のこと……っ。

えっち以外のこと、しててよね……っ。」

め「大丈夫♡ 冗談だよ♡

ね？ ふふふ……♡

ちゃんと手伝ってあげるから、もう少し休んだら、

宿題、始めようね♡

メ「ふう……。」

めいが言うと、冗談に聞こえないんだもんなあ……。

は〜あ……。」

め「宿題が終わったら……次は、何しようか。

せっかくの夏休みなんだし、

どこか楽しいところいきたいよね？」

メ「じゃあ、海に行こうよ。

このメンバーで行ったこと、なかったよね？

みんなで楽しく、海で遊ぼうよ。」

め「海かあ……。ふふ、確かによさそうだね。

でも、それなら水着買いに行かないと。

古いのしか持ってないから。」

メ「じゃ、いっしょに行こうよ。

あ、もちろんキミは抜きだからね？

私たちがどんな水着用意してくるかは、

実際に行った時のお楽しみ……♡」

め「ふふふ……♡

キミが気に入ってくれるような水着、

買ってきてあげるからね……。♡

そうしたら、海で、また、楽しく……。♡」

メ「ちょっと、めい？」

海でどんなことするつもりい……？

ダメだよお、そんなこと考えちゃあ……。♡」

め「ふふ、メシアの言うとおりだね♡

普通に海で遊ぶだけだもんねえ……。♡」

メ「じゃあ、宿題をなんとか今日中に終わらせて……。

明日水着買いに行くからあ……。

海に行くのは、明後日かな？」

め「うん、私はそれでいいよ。

キミは？ 予定とか、大丈夫？」

メ「……あはっ。うん、オッケーだね。

じゃあ、明後日、海に遊びに行くって事で。

楽しみだねえ……。♡

んふふふ……。♡」

め「じゃあ、予定が変わらないように、

メシアは今日中に、宿題終わらせること。

いいよね？」

メ「う……。」

はあい、わかりましたあ……。

がんばります……。

……ちゃんと手伝ってよね、二人とも。」

め「うん、大丈夫だってば。

三人でやれば、すぐに終わるよ。

じゃあ……そろそろ、始めようか？」

メ「ええ……。」

もうちょっと……こうしてようよ♡

だって、キミといっしょに寝転んどと……なんか、

すっごくいい気分になれるんだもん♡」

め「ふふ……♡ そうだね♡

じゃあ、もう少しだけ、こうしてよっか♡

私たちが満足するまで、もうちょっとだけ……♡」

メ「そうそう♡ あと5分……♡♡

ううん、あと10分だけえ……♡」

● 8章

め「お待たせ♡ ふふふ……♡」

メ「ごめんねえ、遅くなっちゃって♡

ちょおつと水着、気合い入れ過ぎちゃってね♡ あは……♡」

め「どうかな？ 私たちの水着姿♡

一生懸命選んだんだけど……♡」

メ「んひひ……♡

返事なんて聞かなくても、お目々まんまるで、わかりやすいねえ♡

だよねえ♡ めいの水着、ちょおつと責めすぎだよねえ？」

め「メシアのだって相当だよ？

更衣室からここに来るまでに、何人の男の人に見られたか……♡」

メ「ナンパされなかったのが奇跡って言うか……。

むしろ、エロすぎて捕まっちゃう方が先かも？　って感じ♡

あはっ♡

め「そうだねえ……♡

でも、逮捕されるとしたら、私たちというよりは……♡

水着姿に興奮して、おチンポ勃起させちゃってる、キミの方かな……？

ふふふ……♡」

メ「本当だ♡

水着の下で膨らんじゃってんじゃん♡

何してくれてんのかなあ？

いっしょにいるあたしたちの方が、恥ずかしいんですけど？」

め「仕方ないよねえ……♡

友達女子、二人の水着……♡

それも、裸よりもエロく見えちゃうような、

過激な水着姿、見せつけられたら……♡

おチンポ制御できなくなるのも、当然だよ……♡」

メ「こんなドスケベ水着着てる女子を、二人とも……♡

自分のものにできちゃってるんだもんねえ……♡

もう、海で遊ぶ事なんてほとんど忘れて♡

勃起ちんちんで、目の前のメスども、

どうしてくれようかってことしか考えてないんだよねえ……♡」

め「だから、シャワー室……行こっか？

あそこなら、外から見られることもないだろうから♡」

メ「あんまり大声も出せないけど……♡♡

その分、優しく……静かに、ドエロく……♡♡

ちんちん気持ち良おくしてあげるからね……♡♡」

め「ぱんぱんになっちゃったキンタマ♡

空っぽにしてから、海に入ろうね♡」

メ「じゃ、早く行こ？

勃起ちんちん、周りにバレないうちにさあ……♡♡

ふふふふふ……♡♡」

め「は〜あ……♡♡」

メ「は〜あ……♡♡」

め「ここまでよく我慢できたね……♡♡

やっとシャワー室に来れたから、

ようやくおチンポ、してもらえるよ♡」

メ「でも、ちんちん気持ちいいからって、

大声出すのは禁止だからね♡

バレたら絶対ヤバイから……♡」

め「怒られて、海から出てけっって言われるんなら、

まだいい方だからね？

もしかしたら、悪うい男の人たちに見つかっちゃってえ……♡

こんなところでえっちなことしてるぐらいだから、

お前ら、痴女なんだろう？ って……♡

その悪い男の人たちに、私たち、犯されちゃうかも……♡

キミ以外の男の人のおチンポに、汚されちゃうかもしれないよ……？」

メ「あは……♡ めいの言うとおりだよ？

もしもそんなことになっちゃったら、大変だよ？

キミはもちろんその中には入れないから、

犯されてるあたしたちのこと見ながら、鬱勃起しちゃうだけ……♡

目の前で、自分専用のメス、寝取られるところ、

見てるだけしかできないんだよ？

そんなのイヤだよな？ あたしたちだって、絶対イヤだから……♡

静かにしててね……♡ 絶対絶対、大声出しちゃダメだからねえ……♡」

め「わかってくれたんだったら……♡

おチンポ気持ち良くするためのべろちゅー……♡

始めちゃおっか♡

んっぁ……♡

っはぁ……♡」

メ「やん♡ めいったら、抜け駆けするなぁ♡

ほら、あたしとも、ちゅ♡

っはぁ……♡

ベロキス、気持ちいいねえ……♡

っふう……♡」

め「こら、メシア♡

メシアだって、2回もキスしてるじゃない♡

ほら、私とも、もう一度お……♡

んっう、はぁ……♡

もう一回だよ……♡ んぁ……♡」

メ「はい、次あたしい……♡」

め「次は私だからね♡」

メ「んふふ……♡

ちんちん、めちゃくちゃ勃起しちゃってる……♡

はぁ……♡

そろそろ外に出してあげないと、水着、ぶち破っちゃうかも♡」

め「ふふふ……♡ そうだね♡

じゃあ、水着、脱ぎ脱ぎしちゃおうか♡

あんっ♡ おチンポぶるんって、飛び出てきた♡

すっごくえっちなおチンポになっちゃってる……♡」

メ「こんなにギンッギンにしちゃってさぁ……♡

あたしたちのおまんこ犯すことしか、

考えてなさそ〜♡ このスケベ♡

んひひ……♡」

め「そんなやらしい勃起おチンポは、私たちが責任持って、

ザーメン抜き抜きしてあげるからね……♡」

メ「ゆっくりちんちんしこしこしてあげるから……♡

どくどくびゅっぴゅん♡

しちゃおうねえ……♡」

め「はぁっ♡ っハっハ、っハっハ……♡

おチンポいいこ、いいこ、いいこお………♡」

メ「ダブル手コキ気持ちいいねえ♡

タマタマ熱くなっちゃうねえ………♡

精液どろっどろのマグマみたいに、凝り固まってきちゃうねえ………♡」

め「早くお射精びゅーびゅーしないと、濃くなりすぎて、

お射精できなくなっちゃうかも………♡

だから、早くおチンポお射精できるように………♡

っあゝ………♡

っはあ………♡

お耳ペロペロ、してあげるからね♡」

メ「あは………♡

なら、あたしもお………♡

んふふふふ………♡」

め「いおら………♡

声、出しちゃだめ………♡」

メ「ちんちん気持ちいいからって、

喘ぎ声出しちゃあダメだよお………♡」

め「我慢して♡

私たちのためにも、ね？」

メ「他の人に見つかりたくないんでしょ？」

んふふふふ……♡」

め「っはぁ……♡

それに……これからもっといっぱい、

気持ち良くされちゃうんだよ？

耳舐めぐらいでえっちな声出したら、

耐えられなくなっちゃうよ？

ほら……。

こんなところも、舐めちゃうんだよ？

んっぁ……♡

っはぁ……♡ んふふ……♡」

メ「あは♡ めいに乳首舐められて、

ちんちんびっくんってしたぁ……♡

乳首、感じちゃうんだ？

ほうら、こっちの乳首もお……♡

たっぷり、ぺろぺろだよぉ……♡」

め「ふふ、カウパーお漏らししてきたよ……♡

ぬるぬるおチンポ、えっちだねえ……♡

はっぁ……♡」

メ「ちんちんの角度、エッグくなってきたねえ……♡

見てるだけで、こっちも興奮してくるよお……♡」

め「うん……♡

かっこいいおチンポで、また……♡

おまんこ犯してほしくなっちゃった……♡」

メ「でも、今はもちろんダメだからね？

キミのあのちんちんで、おまんこずぼずぼ♡

されちゃったら……♡

声なんて、我慢できるはずないもん♡」

め「周りに絶対バレちゃうから……♡

おまんこえっちは、お互いに、我慢しようね……♡」

メ「っはぁ……♡

あぁ、でも……♡ 我慢すればするほど、

ちんちん、欲しくなっちゃって……♡

っはぁ……♡

ガチガチの勃起ちんちん……♡

ホント、かっこいいなあ……♡

あゝ……♡

っはあ……♡

んふ……♡ ちんちんぺろぺろ手コキ♡

しちゃおっと♡」

め「メシアったら、ズルいよお♡

私もおチンポ、舐めたいんだからね？

んっあ……♡

んっふう……♡ んふふ……♡」

メ「もう、めいってば、ちんちん大好きになっちゃってんじゃん♡

そんなにちんちんフェラ、がっついちゃってえ……♡」

め「それはメシアの方でしょ？

お顔とろとろにとろけさせて、

美味しそうにおチンポぺろぺろしてえ……♡」

メ「はあゝ？ 違うしゝ？

あたしは全然、ちんちんなんか好きじゃないもん……♡

こんな臭くて、熱くて、ガチガチのちんちんなんで、

全然好きじゃありません……♡」

め「私だって、好きなんかじゃないよ？

いっぱいぺろぺろなめなめしてるけどお、

おチンポなんて、むしろ嫌いな方だよお……♡

だって、こんなおつきくて、カリ首広がって、

真っ赤なおチンポなんか、好きになるわけ……♡」

メ「唾液でどろっどろになるぐらい、

いっぱい、いっぱい、舐めたいって思ってるけど、

好きなんかじゃないからねえ……♡」

め「そうだよお……♡

だから、勘違いなんかしちゃだめだよ……♡

私達が好きなのは、おチンポなんかじゃあなくて……♡

むしろ……♡ ふふふ……♡」

メ「あはぁ……♡ ちんちんのびくびく、

すごいヤバイ……♡

キンタマの中身、どんどん熱くなっちゃって……♡

早く飛び出してほしそうに、ぐっぐつ煮え滾ってるみたいだね♡

何にそんなに興奮しちゃったのかなあ？ あは……♡」

め「まだまだダメだよ……♡

おチンポぴゅっぴゅするのは、もうちょっと後……♡

ほら、キンタマも舐めてあげるから♡

我慢してね♡」

メ「んひひ……♡ 思った通り♡

めいってば、キンタマ舐め舐めは、逆効果だよ♡

ちんちんさらに興奮して、また一回り勃起しちゃった♡」

め「あは♡ ごめんね♡

でも、キミのキンタマ、すごく美味しそうだったから……♡」

メ「わかる♡♡

んふふ……♡

あたしも舐めちゃおっと♡」

め「あは……♡

カウパーの量、すごいことになってる……♡

おチンポ、どろっどろお……♡」

メ「もう本当に我慢限界って感じだね♡

早く出したくってしょうがないんだあ……♡」

め「キンタマまで舐めてくれる女の子なんて、

ほとんどいないもんねえ……♡

水着姿で、谷間見せつけながら、キンタマおしゃぶり……♡

おチンポもキンタマも、自分の唾液まみれにしちゃうような、

ドスケベ女子なんて……♡

目の前にいるだけで、キンタマどきどきしちゃうよねえ……♡」

メ「だからって、必死にザーメン作り過ぎじゃない？」

キンタマしゃぶられて、おチンポたっぷり射精したさすぎい……♡

私達のお口に出したいの？ お顔にぶっかけたいのかな？

それとも水着汚してやりたいとか？

どこでもいいから、早く重たいキンタマ、

空っぽにしたいんでしょ……♡ 変態ちんちん……♡」

め「それなら……♡

トドメのしこしこ……♡ してあげよっか？」

メ「そうだねえ……♡

またたっぷり耳舐めしてあげるから……♡

お耳にゆるにゆるに犯されながら、

唾液とカウパーまみれのちんちん、しこしこされて、

ちんちんびゅーびゅー……♡

くっさい濃厚どろどろ精液、

たあっぷりどっぴゅん、出しちゃおうねえ……♡」

め「でも、イク時は静かにね……♡

出る、出るっ♡　なんて、絶対言っちゃだめだよ？」

メ「静かに、イクイク、イクイク……♡　って言うぐらいならいいよ♡

かわいい声、聞いてみたいし……♡」

め「そうだね……♡

イク時にべろちゅーして、

お口ふさいであげてもいいんだけど……♡

キミの声も聞きたいから♡

してあげない♡　ふふ……♡」

メ「大きな声だけ我慢して……♡

ちんちんはいっぱい気持ち良く……♡

ザーメンぴゅっぴゅ♡　しちやおうね♡」

め「ほうら……♡

しししししし♡　おチンポしゅっしゅっ……♡」

メ「ちんちん、お漏らしお射精♡

しちやおうねえ……♡」

め「ほうら……♡

おチンポに、意識を集中……♡

おチンポ出るよお、お射精しちゃうよお♡ っ……♡

びゅっぴゅのことだけ考えようねえ♡

メ「でも、余計な力は抜いちゃってね♡

変に力んでどっぴゅんするより、ゆったりゆっくり……♡

お漏らしびゅー……♡ってする方が、気持ちいいもんね……♡」

め「たっぷり舐めてもらってうれしそうなタマタマも♡

優しく揉み揉みしてあげる……♡

精液いっぱい出せるように、もにゅん♡ もにゅん♡

キンタマよしよいっぱい甘やかして、

優しくいっぱい抜き抜きしてげるから……♡

たくさん出してね……♡」

メ「うん、うん♡

出る出る、出る出る♡って……静かに囁いていいよ……♡

かわいい声、いっぱい聞かせて♡

あたしもほら、キンタマ撫で撫で……♡

丸く太ったかわいいタマタマくん♡

いいこいいこしてあげるからねえ……♡」

め「出る出る、イクイク……♡

おチンポ出ちゃう、おチンポ出ちゃう……♡

私たちだけに聞こえる声なら、いくらでもいいからね……♡

タマタマ優しく揉み込まれて、えっちな囁き、

いっぱい出してね……♡」

メ「そうだ……♡

せっかく密着してるんだからさ♡

あたしたちの身体も、触っちゃおうよ♡

あたしたちだって、こうしてキンタマ、触ってあげてるんだし……♡」

め「そうだよ？

さっきから待ってたんだけどなあ……♡

私たちのお尻や太もも、むぎゅってするのとかさ♡

でも、あちこち動いてたから、ちょっと難しかったかな？

ごめんね♡

今ならいいよ♡ ほら、好きなところ触って♡

お尻がいい？ おっぱいにする？

太ももとか、内股とか……♡

もちろん、おまんこに指入れて、にゆるにゆるってしてもいいよ♡

ふふ………♡」

メ「もうここからは動かないから………♡

ここですとお耳舐めててあげるから♡

触りたいところ、いっっぱい………♡

触っちゃっていいからねえ………♡

あたしたちの身体、好きに触りまくれるのは、

キミしかないんだから………♡

キミだけの権利、使わなきゃ損だよ………♡

ほら、ほら、触って、触ってえ………♡

っあん♡ あはっ、早速来たあ………♡

んっううん………♡」

め「あっ♡ やっ♡ んっあん♡

やあん………♡ んっ、んっ、はあん♡

手付き、すっごいえっちい………♡

お尻、力いっぱいむにゅって………♡」

メ「ドスケベ水着に興奮してたの丸わかりい………♡

あっ、おっ♡ お尻っ、指っ、沈んで………♡

んっひい………♡

やっ♡ バレるっ♡ んっお♡

あたしもっ、キミのちんちんにっ♡

興奮しまくりでっ♡ おっ♡ おっ♡

身体っ、敏感になってるのっ、バレちゃってるう………♡」

め「っああん………♡

私も………っ♡ んっく………♡

お尻、揉み揉み、気持ちいい………♡ はっ、んっ、はああん………♡

んっあ………♡ 水着の中、指、するうって入って………♡

生のお尻、弄ばれてる………♡

お尻の谷間にも、指、入ってえ………♡

んっううん………♡

どんどんえっちな気分、強くなっちゃう………♡」

×「はっ♡ はっ♡

うんっ、なる………っ♡

みんなでいっぱい、気持ち良く………♡

えっちなこと、楽しんじゃお………♡

ドスケベで、やらしくて、ちんちんもおまんこも、

いっぱい気持ちよくなっちゃうこと………♡

しまくっちゃお……♡」

め「ほら……♡ 出っっ、出っっ……♡

びゅーびゅーいっぱい、びゅるびゅる、出っっ……♡」

×「出っっ♡ 出っっ♡

臭いのいっぱい♡ あついのたくさん♡

ちんちんから吐き出してえ……♡」

め「イッて♡ イッて♡ イッて♡ イッてえ……♡

びゅっ、びゅっ、びゅっ、びゅーう……♡」

×「出せ、出せ、出せ、出せえ……♡

ちんちん、イケイケイケえ……♡」

め「じゅっびゅっ……♡ びゅるるう……♡

びゅっ、くっびゅっ、くっびゅっ、んびゅーう……♡」

×「ぶっぶ♡ ぶっぶっぶ……♡

びゅるびゅる、ぶっぶっぶ……♡

びゅるる、ぶるるびゅるるう……♡」

め「はぁ……♡ はぁ、はぁ、ふーう……♡

いっぱい出たね……♡

うわぁ……♡ すっごい量……♡」

メ「キミい……♡ これ、精液溜めてたでしょ……♡

またあたしたちの中にザーメンぶっこみたくて、

オナ禁してたんでしょ♡」

め「そなんだから、水着見たぐらいで勃起しちゃうんだよ？

いけないなぁ……♡

んふふ……♡」

メ「だけど……それは、あたしたちも同じなんだなぁ……♡」

め「うん……♡

キミのおチンポ、抜き抜きしてあげてたら……♡

こっちまで、やらしい気分になってきちゃった……♡」

メ「たぶんもう、我慢、無理だから……♡

しょ？

声、我慢しながら、おまんこえっち……♡」

め「水着女子と生ハメ種付け交尾……♡

楽しんじゃお？ ふふふふふ……♡」

● 9 章

め「はい、どうぞ……♡

おまんこハメ待ち、横並び……♡

好きな方に、おチンポ突っ込んでね♡」

メ「ほうら、ほうらぁ……♡

こっちのおまんこの方が気持ちいいよぉ♡

キミのちんちん欲しくってえ♡

おねだり腰振り止まらないぐらい、発情してるんだもん……♡」

め「どうせどっちにもおチンポハメてもらっけど……♡

どっちから先にするのかは、

よく考えて決めて欲しいなあ……♡」

メ「あたしだよね？」

あたしのおまんこにちんちんずっぷり入れて♡

激しくぱんぱん、していいよ……♡

大丈夫♡ 声、我慢するからぁ……♡」

め「それに、ほら……♡

こうしてお湯、出しっぱなしにしておけば、

少しは音、ごまかせるからね……♡

キミは何にも気にしないで、おチンポハメて♡」

メ「ふふふ……♡

女子ケツ並べられて、ちんちんヤバそうだね……♡

ほら、爆発しちゃう前に、早く入れちゃお♡

あったかおまんこで、ちんちん包んじゃお♡

……んぁっ!?!」

め「やっ、んぁ♡ また、お尻……♡

横並びのお尻、驚掴みにして、揉み揉みってえ……♡」

メ「んっうん……♡

これからどっちのおまんこにハメるのか、

お尻の感触で決めるつもりなんでしょ……♡

そうだよねえ、大事だよねえ、お尻の感触……♡

大きさとか、形とか、柔らかさとかあ……♡」

め「これからバックではこハメるんだもんね……♡

お尻に腰をばちゅばちゅ打ち付ける、甘々レイプ……♡

お尻は大事なクッションだもんねえ……♡

あつ、あつああ、んうんあ……♡」

メ「ちんちん、どちゅどちゅ♡ するたびに、

たぶたぶって揺れるお尻のお肉も見どころだもんね……♡

ちんちんにしっかり聞いて、どっちがいいか、選ばなきや……♡」

め「あ、ああつ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡」

メ「ああ、んんあつ、んぶ、んあ、んう、あんっ、っああ……♡」

め「あ……♡

んっあ……♡ やった、こっちに、おチンポ……♡

んっううん……♡ いき、なりい……♡

あっ♡ はっ、んっくう、はああん……♡

おチンポ、おっきいの……♡

来たあ……♡

んっ、んっ♡ おチンポぐりぐり……♡

子宮の感触、確かめられてる……♡

この前しっかり作り変えた子宮♡

形が元に戻ってないか、確かめられて、んっお……♡」

×「ああん、もう……♡ めいからかぁ……♡

んふふ……♡

仕方ないから、あたしはここで、

ちんちん気持ち良くなるお手伝いだね♡

いっぱいサポートしてあげる……♡」

め「早く、動いて……♡

ちんちんぱんぱん、腰振り、お願い……♡

ぐりぐり、だっめ……♡ ほっおお……♡

それ、そんなこと、いっぱいされたら、

おまんこ、もう……っ♡

すっごく熱くなっちゃって……♡

早く、早く……♡ ぐりぐりじゃ、足りないの……♡

子宮ほじって♡ どちゅどちゅえぐって……♡

っあああん……♡ んっ、あっ、やっあ♡

来た、来た♡ んっおっ♡ くっうん……♡

ちんちん、気持ちいい♡ んっああ……♡

あんっ、んっ、んっ、あうんっ、あんっ、んっ、うあんっ♡

あんっ、うんっ、あんっ、んっ、うあんっ、ああんっ♡

あんっ、あああうあんっ、ああうあんっ、うあんっ♡

ああうあんっ、ああんっ、ううん……っ♡

んっ、くっ、はっあっ、んっうう……♡

喘ぎ声、出ちゃう……っ♡

が、我慢しないと、いけないのに……♡

おまんこっ、想像以上に、敏感で……っ♡

んっくう……♡ はっ、ふう……♡

声、おっきいの、出ちゃう……♡

ああ……♡「♡」

×「うっわ♡ ちょっと、その腰振りエグすぎ……♡

こっそりしなきゃいけないっていうの、わかってるの？

いくらドスケベ水着で興奮したからってさあ……♡

ぱんっぱんになったキンタマの中身、

そっくりそのまま、あたしたちのお腹に移し替える気なんですよ？

そんなちんちんピストンされちゃったら、

絶対えっちな声、我慢できないよお……♡

バレちゃったらどうするのぉ……？

まったく……♡

っはぁ……♡

これからあたしの耳舐めで、もっとちんちん、

勃起しちゃうのにさぁ……♡

ほら、ダメだよ♡ いっぱいばんばん♡ だぁめ♡

お外に聞こえちゃうピストン禁止♡

めいのおまんこ気持ち良すぎて、腰振り我慢できなくても、

ちんちんばちゅばちゅ♡ 我慢、我慢♡

ちんちんに負けるな♡

ちんちんの言う事にしたがっちゃだぁめ……♡「♡」

め「うっ、うっうっ、子宮っ、ぐじゅっ……♡」

うっおぉ……♡

んっ、へっ、はっ、ぐっうっうん……♡

んんっうっ、っおっ、おおっんんっおっ、おっ、っふっうっ、ふっうっ♡

っおっ、おおっうっ、んんんっおおんっ♡

っおおっ、うおおん……っ♡

おチンポ、強い……♡ んっお、くっお……♡

はっ、ううっ、んうおおっ、くうおお……♡

気持ちいい……っ♡ 発情まんこっ、ばこばこっ、犯されてえ……♡

おっ、っんんっおっ、おっ、うっ、うっ、っおおっ、おっ♡

うっ、んんっ、んおんんっ、っおおっ、んんおお……♡

奥っ♡ さっきからぐりぐりされてたところ♡

本気でどっちゅん……♡

敏感な子宮の入り口♡ とんとん、とんとん……♡

またここに、ザーメンぶち込むぞって♡

子宮に孕ませミルクプレゼントしてやるぞって♡

おチンポいっぱい……♡

んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

ん、おん、ほお、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おおんっ♡

んっ、おっ、うっくっ、はっああ……♡

だめっ、だめ……♡ 大声、出ちゃう……っ♡

おお、おん、うん、うつふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

ごめっ、もっ、無理……っ♡ くっううう……っ♡

んうっおお……っ♡

むぐっ!?

ふっぐっ、んっぐうっ、うつおおっ、っおおお……っ♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお♡

んっ、んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん……っ♡

んっうおっ、おっふ、っくうう、んうああ……っ♡

んいっ、んっひい……っ♡ へあっ、ふあっ、あっふ、んういい……っ

「♡」

×「あああ……っ♡ なにそれ……っ♡

めいのお口塞いで、ぱんぱんぱんって……っ♡

それ、隠れてえっちしてるっていうか、

バレないようにレイプしてるみたいじゃん……っ♡

絶対声出すなよお……っ♡ 出したらぶっ殺しちまうぞお♡

みたいなさあ……っ♡

っああ……っ♡ もう、ホント、ヤバすぎ……っ♡

そんなピストン見させられたら、

こっちまで、おまんこ濡れてきちゃうよお……♡

もう、あたしのおまんこ、誰かさんのせいで、

強いオスのこと見たら、びちょ濡れになるようにされちゃったんだよ？

そんなあたしの目の前で、そんなかっこいいことされちゃったら……♡

はー……っ♡ っはー……♡

発情、マジで止まんない……♡

子宮うずうずしっぱなし……♡」♡

め「うっ、おおっ、っんんんっおおおおっ、おっうっ、っうっ♡

っおおおおっうっ、っんっ、おおおっんっ、んんおおっ、おっん……っ

♡

おおおっ、おおっんんっおおおっ、うっ、っうっ、おおっ♡

っうんっ、んっおっ、っんんんおっ、おっ、っんっ、んうう……っ♡

はっあ……♡

っおおおっ、ごめっ、んっおおっ、イッグっ、ひっぐうお……♡

おまんこっ、イグ……♡ おまんこイギます……♡

うっおおっ、んっおおっ、無理っ♡

おまんこイグっ、おまんこイッグうう……♡

つよつよおチンポで一番奥っ♡

子宮の弱いところ突かれまくって♡

雑魚まんこイグ♡ おまんこイッぢゃいます……♡

おっ、うっ、おおおっ、んっおおお……♡

んうおおっおおっおお……♡

くっうおおおっ、ほおおおっおお……♡

ふっ、ぐっ、ふっくっ、うっおお……♡

んっいっい……♡

へっ、はっ、ふっ、ふううう……♡
「♡」

×「ん……？」

あれ……？

もう抜いちゃうの？

キミ、まだ、射精してない——んにやつ！？

あっ、や……っ♡

そんなすぐ、あたしに——

っおおお……っ♡ くっふっっ……♡

おまんこ、挿入うう……♡ うっう、おっお……♡

不意打ち挿入、すっご……♡ っああ……♡

発情おまんこ、喜んじゃってる……♡

こんなの、ほとんどレイプみたいなもんなのに……♡

おまんこ、キミのちんちん好きすぎて♡

喜んじゃってるう……♡ おっお……♡

ぶっといままのちんちん……♡

くっ、ふっ、えっぐう……♡

っおお……♡ 来る、来る♡

腰、掴まれて……♡ ピストン来る……♡

んっ、んんっうっ、おおおんっ、んっ、っおっ、っうっうおおおっ♡

おおうっ、んっ、っおっ、おっ、おっ、っんっ♡

んおっ、おおおっんっ♡

おっんっおっ、おうっ、うっ、おっ、おうっ、っんっ、んっおお……っ

♡

おおおっ、んんっ、おおおお……っ、んんんっ、んうおっおお……っ

♡

うおおっおおおお……♡「♡」

め「んふふ……♡

キミ……♡ ホントにヤリチンみたいになっちゃったね……♡

まさか、こんな風におまんこハメ比べするなんて……♡

悪い男の子だねえ……♡

っはっあ……♡

メシアのおまんこ、ぶっといおチンポでごりごりエグって、

ヤバい喘ぎ声、出させまくりで……♡

あは……♡

ほら、メシア、すごい感じちゃってるよ……♡

キミのおチンポに、完全にメロメロになっちゃってる……♡

キミのおチンポ、大好きにされちゃってる……♡

メ「んっ、おおおっうっ、うっ、っおっ、おっっ♡

んんっ、っおっ、おんんんっおおお……っ♡

っおおっおおお……♡

ちんちんっ、すっごいっ、っおお……♡

おまんこっ、発情、してたせいで……っ♡

うっくううう……♡

敏感っ、なつてっ、ちんちんの形っ♡

全部っ、わかっちゃって……♡ っおおお……♡

出し入れされるだけでっ、へえああ……♡

おまんこっ、焼ける……♡ おまんこっ、溶けるう……♡

んんっうっ、おおおっんんっ、んおおおおっ♡

っうっ、っうっ、おおっ、おうっ、んんおおおっんんおおっんっ

♡

っおおっ、イググっ♡ すぐイグっ♡

だっめっ♡ イググっ、おまんこイグイグっ♡

ほっおおっおお……♡

っおおっ、んっおおっ、くううおっ♡ ほおっおおお……♡

んっひいいいいん……♡

うっおおおっ、ほおおっおおお……♡

うっおおおおお……♡

んっううう……っー？

ちんちんっ、止まんない……っ♡

なんでっ、っおおお……っ♡

イッたのに……♡ おまんこアクメ♡ もうしたよお……♡
おおっ、っんんおっ、おおおっ、おうっ、んっおっ♡
おんんっおおっ、っんん……っ♡
めいは、イッたら終わったのに……♡
ほっおお……♡」

め「へえ……♡

イッたら交代ってわけでもないんだ……♡

つまりそれって、ホントにキミの裁量一つで、

私たちのおまんこ、ハメ潰せちゃうってことなんだ……♡

メシアが何度も、何度も何度もイキまくるまで、

ちんちんピストンするのも自由だし……♡

逆に、イケそうでイケないギリギリのところで

寸止めしまくって……♡

私たちのこと、おチンポ狂いに作り変えることもできちゃうんだ……♡

エロ水着で興奮したからって、そこまでしちゃうんだ……♡

男の子のおチンポで、女の子、好き放題にしちゃうんだあ……♡

そうだよねえ……♡ キミにはそれができちゃうんだよね……♡

この間のセックスで、私たちのこと、

キミのおチンポでめちゃくちゃにしちゃったもんね……♡

私たちは、おまんこにも、脳みそにも、

キミのおチンポの快感、刻みつけられちゃったから……♡

おチンポ見たら発情するようにされちゃったから……♡

そういうこともできちゃうんだよね……♡

もう、私たちは、キミ専用のハメ穴なんだもんね……♡

しろって言われたら、どんなご奉仕交尾も、

しないといけない性処理おまんこ女なんだもんね……♡」

メ「うっっおおっおお……♡

イグイグイグイグっ♡ んっおおっ、イッグうおお……♡

またイグまたイグっ、うっぐっ、ほおおっおお……♡

んうおおっおお……♡

うっくっ、ほっおっ、んっおおっ、んっいいい……♡

はっ、くっ、あっくっ、うっおお……♡

待つへ♡ 止めてっ♡ ちんちんっ♡

だっめえ……♡

んっ、っうっ、っおっ、っんっ、んおっ、うっ、っうっ♡

っおっ、おおっ、うっ、っんっ、んおっ、おおっんっおおおっ♡

おおおおっ、んんっ、おっほおっ、おおっうっうっ♡

おおっ、っううんっ、っんうんっ、んんうおおんっ♡

んっ、っうっ、おっ、おおおっんんっおおおうっ♡

っうっ、おおおおっうっ、んんおおおおっんんっ、んお……っ♡

うっおおおっ、んっおおお……♡

んっいいいっ、おおおおっ♡ おまんこっ、ヤバいのっ♡

キミのちんちんっ、よすぎるのお……♡

うっおっ、ほっおおお……♡

もっ、声っ、出ちゃってる……♡

外っ、聞こえてるからっ、ほっお……♡

おっんっ、っおおっ、おうっ、っうっ、おおおうっ♡

っんっ、んっ、っおっ、おおんんおおおっ♡

おおっ、おおんんっ、っおおおっ、おおおっうっ、うっ、っおっ♡

おおおっうっ♡

っんんんおおおっんっ、んおっ、おっ、おっんん……っ♡

うっぐっ♡ んうっおおっ♡

イグイグっ、イッグっ、んっおおっ、イッグうう……♡

んっ、おっ、ほおおっ、んうおお……♡

うっ、うっ、うっ、うううう……♡

んっぐ……♡

んむおおおおおお……♡

むっおおおっ、ぐうおおっおおおお……♡

ふっ、ぐっ、ふっぐっ、くうおおおお……♡

っおおお……♡

ふっ、ほっ、ほっ、ほっおおお……♡

はぁ、はぁ、はっぁ……♡「

め「っぁ……♡

んっう……♡ また……♡

っぁぁぁ……♡

メシアのことハメ潰したおチンポっ、一気に、奥う……♡

おおおっおおお……!?

んっおおっ、くっふっ、うっおおっ、んおおおおお……♡

ピストンっ、激し……っ♡

これっ、おチンポっ、つくっうう……♡

射精する気、でしょ……♡　っおおお……♡

私のおまんこにっ、ザーメン種付け……♡

メシアのおまんこでっ、キンタマに溜め込んだっ、

子作り濃厚おチンポ汁う……♡　んっおおお……♡

私のおまんこにっ、吐き出すっ、つもりでえ……♡

ふっ、ほっ、ほっおおっ、っおおお……♡

だっめ……♡

種付けチンポっ、強すぎ……♡　かっこよすぎ……♡

別の女で濃度高めたザーメン、他の女に好きに中出ししちゃうような、

ひどい男のおチンポに、負けたくないのに……♡

うおおおっ、おっんっ、っおおっ、おうっ、うっ、おおっ♡

おっうっ、っんっおおおっんっ♡

イッグっ、イッグ♡　イカされる……♡

簡単にいい……♡

こっちの気持ちなんか一切関係なしに、

おまんこ悪目まで、もっていかれる……♡

おチンポで強制絶頂……♡

メスなんか、オスのザー汁受け止めるための存在なんだって♡

おチンポに教えられちゃうぅ……♡

おおっんっ、っおおおおっうっ、っうっ、っおおおっ♡

おっうっ、っんんっ、んおおっ、っんんおっ、んんん……っ♡

んっおおおお……っ♡ イッグううおおっおお……♡

くうっおおっおおっおお……♡

潮吹きアクメ……っ♡ こんなっ、簡単にい……♡

んんんうっ、っおおっ、おっ、おんんっ、おおおっ、おうっ♡

おおっ、おっ、うっ、んんんっおっ、おっ、おっんっ♡

んおっ、おおんっ、ん……っ♡

っおおっおお……♡ おチンポっ、止まんない……♡

イキまんこえぐられるのっ、ヤバいのっ♡

おおっおお……♡

んんっ、おおおおっ、おおおおおっ、うおおおおっ♡

おっ、おおっ、おおおっ、ほおおお……っ♡

んっほ……っ、おっ、おっ、おおおっ、んっお、おおおっお……っ

♡

おお……おっほおおおっ、おおっ、おおおおお……っ♡

んっ、んうっおっ、んんっおっ、っうっ、っうっ、っおっ♡

おっ、おおっうっ、んんおっ、おおおっんんっ、おっ、っんん……っ

♡

ふっう、ふっう、ふうううっ、ほっおおっおお……♡

あっ、ぐっ、子宮っ、押し潰されて……♡

うっあっ♡ またイクまたイクっ♡

もっ、おまんこっ、アクメスイッチみたいになってっ♡

おっおおお……♡

イグイグイグっ♡ うっおおお……♡

ほおおおおああああ……♡

んっいいいっ、んんっいいいいん……♡

んん……っ、うほおっ、おおおっ、おお……っ♡

おおっ、うっおおっ、おおっうう……っ♡

ほおっ、おおっ、ほっ、おおっ、んうおっ、おおおっ、ほっおお♡

んうおっ、おおっ、うんんんっ、ほっお……っ♡

んっうううっ♡ くうううう……♡

おチンポっ、奥う……♡ むぎゅうって、くっついてえ……♡

やっ♡ やあ……♡

来ちゃうっ、出されちゃうっ♡ 一番奥にっ♡

直出しっ♡ ザーメンん……♡

だめっ♡ だめっ♡ 今出されたらっ♡

孕む……♡ 安全日だけどっ、赤ちゃんデキちゃう……♡

そのぐらいつ、おまんこ、本気になっちゃってる……♡

子宮っ♡ おチンポっ♡ お迎えして……♡

赤ちゃんください、孕ませてくださいってモードに♡

なっちゃっててえ……♡

おおおっ、おおおおっ、おおおっ、うっほお、おおっほお……っ♡

おおっ、んうおお、おおおお……っ、んっうっおお……っ♡

んおお……っ、んんんおお……っ、おおっんっ、んんんっ♡

おおお……っ、おおおおっん……っ♡

お……っ、ほおおおおお……っ、おおおおお……っ、おお……っ♡

うおおっおおお……♡

イグイグイグイグっ♡ 妊娠アクメ来るっ♡

種付けザーメンっ、出されちゃううう……♡

子作りっ、中出し……♡

おおおお……っ、おお……っ、ん……っ、んんんおおおおお……っ

♡

おおおおお……っ、おっんお……っ♡

ほおおおおお……っ、おお……っ、おっお……っ♡

んっお、おっほ、っおお、んうっおお……っ♡

おっ、おっ、おっ、おっおおっおお……っ♡

んっおおおっ♡ イグっ♡ ひっぐっ、イグうう……♡

おおおっ、んっおおおっ、うっくっ、ほおおお……♡

んっにゅうううう……♡

うおおおおおっおおお……♡

うっおおおっ、ほおおおおお……♡

うおおおおお……♡ んっおおおっ、ん……♡

んっいっ、出てるっ、出てっ、中出……♡

おおっおおお……♡

ふっ、おっ、うっおおっ、くっうう……♡

あっ♡ あっ♡ 来てるっ♡ 精子っ♡

子宮っ、中あ……♡

んっ……♡ ぐりぐり、奥……♡

射精中のおチンポっ♡

種付け中のおチンポっ♡ 子宮にい…………♡

うっうう、うううう…………♡

んっうお、ううううう…………♡

赤ちゃんのお部屋…………っ♡ ザーメン、なすりつけられて…………♡

はっ♡ はっ、はっあ♡ んっうう…………♡

んくうう…………♡

はっ、ふっ、はっ、はっああ…………♡「♡

×「ふ…………、ふ…………、ふ…………♡

んあ…………？

あっ、やっ、なにっ!？

んぐうっ♡

んっううう…………♡

ふっ、ふっ、ふううう…………♡

んう…………♡

っはあ…………♡

もう、キミい…………♡

お掃除して欲しいなら、ちゃんと言いなさいよ…………♡

っはあ…………♡

そんな無理矢理突っ込まなくても、キミのなら……♡

いくらでも、おしゃぶりしてあげるんだから……♡

んふー……♡ ふーう……♡

ふう、ふう、んっふう……♡

っはぁ……♡

奥から残り汁、いっぱい出てくる……♡

めいに出出した、あまりの精液なんて……♡

嫉妬しちゃうけど、でも……♡

おいしいの、変わらないから……♡

たくさん欲しくなっちゃう……♡

ん……♡

んあむ……♡ んっ、んむ♡ んあむ、じゅるるう……♡

んぎゅ♡ ぎゅ♡ んぎゅ♡

ぎゅん……♡

ぷっはぁ……っ♡

はぁ、はぁ、ふう……♡

残り汁、美味し……♡」

め「おチンポ、すごかったぁ……♡

子宮、また、ずっしり重たくされちゃったよ……♡

ふふふ……♡」

メ「いいなあ、めい……♡

あたしもまた、中出しして欲しかったのに……♡

途中から……ってか、今もだけど、

足が震えて、立てないんだもん……♡

誰かさんのちんちんピストンが、強烈過ぎてさあ……♡」

め「本当に……♡

おまんこすっかり、開発されちゃって……♡

もう、キミのおチンポなしじゃ、

まともに生活できないかも……♡」

メ「たぶん、オナニーとか、全然気持ち良くないんだろうなあ……♡

キミのちんちん以外のもの入れたって、

全然感じなくなっちゃって……♡

どんどんムラムラ、溜まるようになってさ……♡」

め「そしたらまた、キミのおチンポが必要になっちゃって……♡

おまんこ好き放題に開発されちゃって……♡

あは……♡ セックス、無限ループだね♡」

メ「ヤバイよお、絶対……♡

もう、どこに遊びに行っても、

おまんこすることしか考えられなくなっちゃうかも……♡」

め「ふふふ……♡

とにかく、今はこれでおしまいってことにして、

後片付け、しちゃおっか……♡」

メ「うん♡

身体綺麗にして……少しぐらい、海で泳ごっか♡」

め「そうだね、せっかく来たんだもんね……♡

でも……どうしょっか♡

この水着で遊んで、またキミのおチンポ、

イライラさせちゃったら……♡」

メ「その時はあ……ふふふ♡

また、いっぱいぴゅっぴゅさせてあげればそれでいいっしょ♡

キミとのセックス、楽しいもん♡

何度だって……ね？

ふふふふふ……♡」

● 10 章

め「ああ……。今日は楽しかったねえ……。

んふふ……。」

メ「そうだねえ。

海で泳ぐのももちろん気持ち良かったしい、

その他にも、いろいろと……。ね♡

んひひ……。♡」

め「ただ、このバス……。」本で帰れるのはいいんだけど、

ちょっと時間がねえ……。

一時間近くかかったから……。

ふわあ……。ふう……。」

メ「あは。めいってば、なんかすごい眠そうじゃん。

そんなに疲れちゃった？」

め「うん……。楽しかったんだけど、ちょっとね……。

んあ、ふう……。

ごめんね、二人とも……。私、ちょっと……。

ん……。

すー……。すー……。すー……。」

メ「……。わ、ホントに寝ちゃったよ、めい。

まあ、もともとそんなに体力あるほうじゃあなかったしねえ。

ま、このまま寝かせておいてあげよっか。

しばらくは、二人きりってことで……。

……。二人きり……。

二人きりかあ……。あは……。っ。

ねえねえ、キミい……。ちょっとお願い、あるんだけどお……。

手……。繋いでいい？

いいよね？ ほら、ぎゅうって……。♡

ふふ……。♡ キミの手、おっきいねえ……。♡

あたしが小さいだけかな？

でも……。ほら、こんなに差がある……。♡

あたしの手、キミの手ですっぱり包まれちゃいそうだよ♡

んふふ……♡

ほら……♡ もっとこっち、来て♡

めいから少し離れないと……揺らしたりしたら、起こしちゃうでしょ？

そうそう、もっとこっち……♡

あたしとぎゅーってくっつくぐらいに近く……♡

はー……♡ はー……♡ あはあ……♡

ねえ……♡

目、つぶってくれる？

ん、ありがと♡ それじゃあ……♡

んうあ……♡

はあ……♡

あは♡ お耳、舐めちゃった♡

今までえっちの最中以外、したことなかったのにね♡

こんなバスの中で……♡ しちゃったねえ……♡

ドキドキしちゃう……♡ キミも、そうだよね？

バレたらどうしょっか……♡ 危ないよね……♡

気をつけないきゃいけないよねえ♡

大丈夫だね……♡ さっきもバレなかったもんね♡

だから、ちゅー……しょ？

お顔、こっち向けて……♡

ね？ キミもしたいでしょ……？

私とちゅー……♡

めいには内緒で……二人きりの、いちゃらぶキス……♡

しょ……？

ふふ、ありがと……♡

んう……♡

っはぁ……♡

ほら、手……♡ もっと強く……♡

恋人繋ぎなんかしてみちゃったりして……♡

っはぁ……♡

好きだよ……♡ だあい好き……♡

キミのこと、好き……♡

んふ♡ ドキッとした？

冗談っていうかぁ……キミのこと喜ばせる台詞？ 的な？

恋人ごっこした方が、もっとドキドキできるでしょ？

んうぁ…………♡

はぁ…………♡

あは、今、唇が唾液で繋がっちゃってたね♡

べろちゅーアーチ…………♡ またドキドキ、強くなっちゃう…………♡

ふー…………♡ はー…………♡ んふふ…………♡

ん…………♡ どうしたの？

おっぱいとか、触りたい？

あは♡ そう顔に書いてあったよ？ このスケベ♡

いいよ♡ 触って♡

服の上からでも、裾から手、突っ込んでも…………♡

どっちでもいいから…………♡

ぁ…………♡ んっ、んっく♡

はぁ…………♡ おっぱい、揉み揉み…………♡

上手う…………♡

っふう…………♡

でも、やっぱりちょっと、物足りないよね…………。

めいと比べたら、どうしたって…………。

あっちがデカすぎるだけだと思っただけだね…………。

でもまあ、実際負けてるのは事実なわけだし……。

え？ き、気にしてない？

か、かわいいよって……。何言って、あ……っ♡

んっ、んっ♡ そこっ、乳首……♡ やっあ……♡

指っ、かりかり、だっめ……♡ んっう……♡

乳首、すご……♡ いじるの、上手……♡

うっ、くっ、うっくう……♡

はっ、はっ、乳首だめ……♡ 気持ちいい……♡

おっぱい、感じちゃう……♡

キミに乳首、いじってもらえるの……♡

うれしすぎて、変になっちゃう……♡

はっ♡ はっ♡ やっあ♡ んっあ……♡

んっ、くっ、んっううん……♡

っふう、ふう、っはあ、はあ……っ♡

あっ、んっあ、んうああ……っ♡ はああ……っ♡

だめ、だって……♡ 声、出ちゃう……♡

お客さん、少ないけど……♡

バレちゃうってえ……♡ やっあん……♡

んっ、っうんっ、はっ、っあああ……♡

だめ、だめ……♡ かわいいって、言わないで……♡

うれしくなっちゃう……♡

うれしくて、どんどん気持ち良くなっちゃってえ……♡

あっく、んううう……っ♡ んっひいつ、はああ……っ♡

あっ、っはあっ、んううあっ、はああ……っ♡

んうっ♡

はっああ……♡ キス、もお……♡

んっうっ、くっうう……♡

やっ♡ あっ♡ だめだめ♡ んっう……♡

乳首、イク……♡ 乳首イク♡ 乳首でイッちゃう……♡

あっ♡ んっ♡ あっあ♡ っああ……♡

甘イキ来ちゃう……♡ おっぱいっ♡ 乳首ィ……♡

うっ、あっ、あっ、んっ、んっううっ、っあああ……♡

んっううん……♡ んっううっ、んっうう……♡

はっ、んっ、んうあっ♡ はっああ……♡

んっううん♡ やっ♡ やっ♡

イッた♡ 乳首、イッたっば……♡

いじるの止めて♡ あっ、んっああ♡

乳首、イッたばっかで敏感なの♡

なのにそんなにいじられたら♡ やっあん……♡

んっうううう……♡ また、イッちゃう……♡

幸せ乳首責めで♡ またイク♡

乳首イク♡ 乳首イク♡ んっっあああ……♡

っはあっ、っはああ……っ♡あっ、あっ、んっあっ、はああ……っ♡

いっく……♡

んうああああ……♡ はっっああ、うっくう♡

ふっう、ふっう、ふううう……♡

もう……っ♡ キミってば……

ちょっと、イタズラが過ぎるんじゃないの？

乳首だけで、二回もイカせてくれるなんて♡

んふふ……♡

おかげであたしも……キミの、舐めたくなっちゃった……♡

あは……♡

いいよね？ だって、ほら……♡

キミのちんちん……♡ ふっくらしちゃってる♡

静かに舐めてあげるからね……♡

ちょっと物足りないかも知れないけど、我慢してね♡

行くよ……♡ あゝ……♡

っはぁ……♡ んふふ……♡

んっ、ふう、はぁ……♡

ちんちん、美味し……♡

っふう……♡

さっきもあんなにしてあげたのに……♡

もうちんちん、こんな……♡

っはぁ……♡

お口で啜えると、わかつちやうなあ……♡

キミのちんちんが、お猿さんみたいに、

性欲いっぱいなんだって……♡

最初にえっちしちゃった時もそうだったもんねえ……♡

一旦は疲れちゃったと思ったのに、

「回おまんこハメたあとは、ものすっごく

元気になっちゃって……♡

あ……♡ 思った通り♡

ほら、キンタマもこんなにばんばん♡

まるまる膨らんで、かわいいなあ……♡

さっきもあんなに出したのに……♡

どれだけちんちん元気なの？ キミってさ……♡

何発でも出せちゃう人ってことなの？

今更だけどさ……♡

ねえ、キミ？ もしかしてだけどさぁ……♡

またおまんこしたあい、なんて……思っていない？

さっきもあんなにハメまくったのに……♡

だとしたら、ちんちんホント、元気すぎじゃない？

んふふ……♡

んっ！？ もぐぐ……っ。

ちよっと、なんで、頭……っ。

んいっ！？

ぶっは……っ♡ はっ、はぁ……♡

ちよっ、キミ……♡

またイタズラ……っ♡ んぁっ♡

んっふっ、んっうううっ♡ ふっ、ふっ、ふっう……♡

んっは……♡ はっあ、ああ……♡

キミの凶悪ちんちんで……♡

あたしのお口っ、おまんこみたいに……っ♡

んっうっ♡

んっうっ♡ んっ、くっ、んっう……♡

はっああ……♡ うううう……♡

違う……♡ おまんこよりも、オナホ……♡

あたしの意志なんか関係ない……♡

ただの、性処理道具にされて……♡

奥……っ♡

喉の奥までっ、ちんちんっ、ずっぷり……♡

で、出る……っ？

出ちゃうんだ……っ。

このまま、射精い……♡

んっむっうっうっうっうっう……♡

ふっうっうっ、んっく♡ くっうっうっうん……♡

ふっ♡ ふっ♡ ふっう♡ ふううう……♡

んふー……っ♡ んっふうー……♡

んっ、んっ、んっうっ、んっううん……♡

んっうあ……♡

ふっ、んっ、んっうっ、んうえあ……♡

んぎゅ……っ♡ んぐ、もぐ、んあぐ……っ♡

精液、まだこんな、濃い……♡

もぐもぐしないと、飲み込めないしい……♡

んあむ♡ あむ、はぐ♡ んじゆるるう……♡

んごきゅっ、ごきゅっ、んごきゅん……♡

んごきゅ♡ んごきゅっ、ごきゅっ♡ んごきゅん……♡

っはあ……♡ はあ、はあ、んっあ、はっああ……♡

ふー……♡ ふー……♡ ふーう……♡

はあ、はあ、はあ……♡

あゝん……♡

んふふ……♡

全部、飲んじやったよ♡ キミのあっつあつの、ちんちん汁……♡

人のお口をオナホにして、濃おいの出してくれちゃったねえ……♡

まったく、ひどいんだから……♡

でも……♡ そういうキミのことが好き……♡

あたし、キミによろこんでもらえるなら……♡

少しぐらい、ひどいことでも……できちゃうみたい……♡

ふふふ……♡

はあ、はあ、ふう……♡

え……？ あっ、やん♡

ちよっ、何、また……♡

んっう……♡ はあ、はあ……♡

え……？ おまんこ？ するの？

セックスしちゃうの……？ ほ、本当に……っ！？

だ、だって……♡ それは、ホントにヤバいって……♡

バレちゃうってえ……♡

あ……♡ だめ、脱がしちゃ、や……♡

だめ、ちんちん入れられちゃう……♡

バスの中なのに……♡ 他にお客さんもいるのに……♡

おまんこ、ハメられー

おおっおおお……♡

んっおっ、んっくっ、んっうっうん……♡

ふっうっうっう……♡ ふっ、ふっ、ふっ、くっふっう……♡

だ、だめだよお……♡

こんな、ところでえ……♡ んううう……♡

ち、違う……♡

おまんこ、喜んでなんかないい……♡

ちんちん嬉しくて、ひだひだ、

ちんちんぎゅーってなんて、してない……♡

おっおおお……♡

んっ、おっ、んっくっ、ほおおお……♡

んっ、うおおおおんっ、おんっ、んっ、うんおっ、おおんっ♡

おんっ、おおうおおうっお……っ♡

だっめ♡ だっめ♡ ちんちん、ぱんぱん……♡

おまんこっ、突き上げっ、ほっおお……♡

気持ちいいっ♡ 気持ちいいよおっ♡

気持ちよく、されちゃってるう……♡

おほおっ……おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう♡

おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ……♡

んっおおっ、くっうう♡ おっ、ほっおっ♡

んっおおっ、ううんうおお……♡

へっ、へっ、だめっ、隣でめいっ、寝てるのに……♡

んっおお……♡ バレちゃう……♡ 起きちゃう……♡

めいに、他のお客さんに、見られちゃうよお……♡

んおっ、おん、んくっ、んうっ……、んお、おおん、おっ、おんっ♡

んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ……♡

んっ、おん、んお、おっく、んっく、いや、うおん♡

んうっ、んお、んおう……♡

ふっ、ふっ、んっううっ、んっおお……♡

ちんちんっ、だっめえ……♡

んっおおお……♡

奥まですっぶんっ、どちゅどちゅっ、んうう……♡

おっ、おっ、おっ、んっおお……♡

んうおっ♡ イックっ♡ イック♡

うううん……♡ だめっ、おまんこイッちゃう……♡

おまんこピストン、気持ち良すぎて……っ♡

周りに人、いるのに……♡

バレたらまずいの……♡♡ イックうううう……♡

おっ、おっ、んっおっ、うおお……♡

んお、んう、おん、うん、おん、おんっ♡

ん、んお、ほお、おふ、ふおっ……♡

んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひいっ、っおお♡

んおう、んっく、くお……っ♡

んいっく、イック、イッグう……♡ おおおおっ♡

くうっううううん……♡ んっおおっ、ほおおお……♡

ほっ♡ おっ♡ んっおおっ、うおお……♡

ふっ、ふっ、んっううう……♡「♡」

め「あっ、メシア……っ。」

メ「んい……っ!？」

あ、め、めい……?」

め「こら、メシアあ……。

何食べてるのお……。

そんな変なもの、勝手に食べちゃいけないでしょお……。

キミも見えないで、早く止めて……。

んふふ……。

すー……、すー……。」「

メ「はっ、はあ、はあ……。

ね、寝言かぁ……。

もう、驚かせないでよね……っ。

ば、バレちゃったかと思って……。

おおおおお……っ♡ ちょ、キミ……♡

安心したからって、ピストン、またぁ……♡

ほおっ、んお、つくお……っ、んうっ、おおん♡

うん、おんっ、おっ、んお、おお……っ♡

ひい、おほお、ううおっ……♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお……♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう……♡

な、何言って……♡ おまんこ、キツくなんて……♡

おおおおお……♡

めいにバレそうになって、おまんこ締めてるとか、

そんなこと、ないからぁ……♡

んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ♡

んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん……っ♡

うっ、ぐっうっ、イクイク♡ んっぁぁぁ……♡

イッグ、イッグ、んうあああ、またイク……♡

んうおおおっおおお……♡

んっううう、くううあああ……♡

んうああ……！？ あっ、くう、はあああ……♡

んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おおんっ♡

うん、おんっ、お、おっ、おんっ、やんっ、おお、うおんっ♡

あっ、やっ、ばちゅばちゅっ、止めて……♡

イッたっ、イッたからあ……♡ んおおお……♡

どちゅどちゅっ、されたら……っ♡

ヤッバいからあ……♡

んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう♡

おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ……♡

うっく、うぐ、うお、うおんっ、おん、ほおっ、おほっ、おほおっ……

♡

ふっ、ふっ、ふっ、ふううう……♡

んっおおっ、くうううう……♡

イッグ、イッグ、んうおおっ、またイグう……♡

んおおおっ、ほおおおっ、イグイグっ、イックううう……♡

うおおおっおおお……♡

んうううおおお……♡

んっいいっ、ほおおお……♡

うっ、くっ、んうっおっ、へっえああ……♡

止まって♡ 止まって♡ ちんちん、だっめ……♡

んっううう……♡ あたしの弱いところ……♡

ちんちんでいっぱい、ぐりぐりぐりってえ……♡

ちんちんの扱い、上手になりすぎ……♡

あたしのこと、どれだけイカせれば、気が済むの……♡

んっ、んうっ、おおおおっ、んっ、んっ♡

っおおっ、おうっうっ、っおおっ♡

うっ、っんんんっおおっ、っんっ、っおっ、おっ、んんっ……っ♡

ああ……♡ 子宮の入口、ぬちぬちされて、またイグ……♡

ちんちんカウパー染み込まされて……♡

入口甘々ところろにされて、子宮、イグ……♡

んおっ、おん、んくっ、んうっ……♡

んお、イグ、おっ、おんっ、んう、イグイグ♡

おっ、おっ、おっ、おっ……♡

ほっおっおっおお……♡ んっおお、くっくっうん……♡

はっ♡ はっ♡ おっ、おおお……♡

んっ、んっ、待って、ホントにつ、ううううう……♡

はっ、くっ、うっくっ、おっおお……♡

へっ、はっ、うっおっ、ほっおお……♡

おまんこイキ過ぎでっ、やばいのっ、くっくっうう……♡

もうっ、敏感っ、なりすぎてっ、うっくうう……♡

またイクっ、またイクっ、うおお……♡

イクのっ、止まらなくっ、なっちゃうっ、おっおお……♡

子宮、どちゅどちゅ……♡ 奥にちんちん、押し付けられて……♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んぶ、んっぶ♡

おお、おお、おおん、んおん……♡

んっ、おっ、うおおっ、はっああ……♡

止めて、止めて、ちんちん、止めて……♡

んっうおっ、おっふ、っくうう、んうああ……♡

んいっ、んっひい……♡

へあっ、ふあっ、あっふ、んういい……♡

へっえ……？ ちんちん、動かしてない……？

ううううう……♡

うそ、でしょ……♡ 違う、あたし……♡

自分からおまんこたんたん♡なんてしてない……♡

自分でお迎えおまんこなんてしてないもん……♡

あたし、そんなえっちじゃない……♡

自分でちんちん、おまんこでばちゅばちゅなんて……♡

子宮に自分から、ちんちんぐりぐりしに行ってなんて、

そんなの、うそ……♡ うそだから♡ 違うから♡

んっ、んっうっ、おっ、っんっ、おっ、おおっ、おおっ♡

んっぐ、んいっぐ♡ イグイグイグイグ♡

んんっ、っおおっんっ、イッグ♡

おっ、おおっ、っんっ、んうおお……っ♡

ひっぐうううう……♡

うっくううおお……♡ んっああっ、んっいいい……♡

ふっ、くっ、子宮っ、ちんちんっ、ぎゅううって♡

うっおお……♡ へっ♡ はっ♡ んっくううう……♡

うおおおっ、おっんっ、っおおっ、おっっ、うっ、おおっ、おっっ、

っんんっおおおっんんっ♡

ほっおお……♡ お尻、またむぎゅってしてるう……♡

キミ、私のお尻、おもちゃみたいに思ってるでしょ……♡

いつでも好きに揉んでいい、

手のひら気持ちよくするためのおもちゃあ……♡

んっ、おおっ♡ んっく、ほっおお……♡

はっ、あっ、んっあああ……♡

んえ……？ な、なにに……っ。

めいがおっぱい役だから、あたしはお尻ってえ……♡

ひ、人がおっぱい小さいの、気にしてるの、知ってるくせに……♡

んううう……♡ むかつくう……♡

むかつくけど、っおおお……♡

お尻揉み揉み気持ちよくって、逆らえない……♡

うっく、うぐ、うお、うおんっ、おん、ほおっ、おほっ、おほおっ……

♡

お尻揉まれたら、おまんこうれしくなっちゃうように♡

されちゃったからあ……♡

ばか、ばか、ばあか……♡

おちんちんで女の子に言う事聞かせるなんて、

最低なんだぞお……♡ くっくうん……♡

そんな男は、めいには近づかせないんだからね……♡

悪い男は、あたしがしっかり管理して……っ♡

あっ♡ あっ♡ うっああっ♡ んっいいい……♡

はっ、うっ、うっああっ、うううん……♡

人がまだ、話してるのに……♡ おおお……♡

おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ♡

んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ……♡

ん、っく、ん、んふう、んお、おう……♡

んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ……♡

おおおっ、うっおおっ♡ だめだめだめだめっ♡

んうおっ、うっくうおお……♡

ああっ、だめっ、ちんちんっ♡ 深い……♡

うっくうあ……♡

んっおおっ、んいいいっ、ほっ、おっ、うっおおお……♡

だめっ♡ だめっ♡ 子宮にちんちんっ♡

どちゅどちゅっ、ぬちゅぬちゅ……♡

うれしいのっ♡ プレゼントっ♡ してくれちゃっ、だめえ……♡

もっ、無理っ♡ 声出ちゃう……♡

おっきい声、出ちゃううう……♡ ほっおおお……♡

おっ、おおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ

♡

おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ♡

んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ……♡

んっおっ、うううっ、ほおおおっ、うおおお……♡

あっ、ぐっ、イックっ♡ イッグっ、うおおおお……♡

抱きつき対面座位おまんこ……♡

らぶらぶ子作りの格好です、こっそりセックス……♡

気持ち良すぎて、またイク♡ またイク♡

イキまくっちゃう♡ っおおおっ♡ んいいい♡

うっ、っおおおっ、んうおおお……♡

うんっ、出してっ、出していいからっ♡

中にいっばいっ、射精していいからあ……♡

でないっ、もっ、おっ、うっおおっ、イグイグっ、うっううう……

♡

んうおおっおおお……♡

くううおっ、ほっおおお……♡

今の、限界……♡ 次は絶対♡

大きい声、出る、出ちゃうっ、出る出るっ、ほおおっおおお……♡

っああっ、イグイグっ、うっおおおっ♡

いっぐっ、んうおおおおお……♡

ん、っく、ん、んふう、んお、おう……♡

んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ……♡

んお、んう、おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお♡

おふ、ふおっ……♡

んうおおおおお……♡

おっ、おっ、おっ、おっ、うおおっ、んっいいいい……♡

んうおおおああああ……♡

んっいいっ、んっひっ、ほおおっ、うおあああ……♡

うっ、くっ、うっおおっ、へっあああ……♡

熱いっ、精液……♡ っくううっ、ほっおお……♡

びゅー……♡ びゅー……♡

はっああっ、うっくううう……♡

バスの中なのに……♡ 勢い、やばあ……♡

子宮、どくどく……♡ 強い、種付けえ……♡

っぁあっ、っふううっ、んううっ、ほおおお……♡

んっうう……♡ ちょっと、んっぁ……♡

出しながら、ちんちん、ぬちゅうって……♡

精液出してるちんちん、子宮押し付け、だめだって……♡

染み込んじゃう……♡ 赤ちゃんのお部屋、精液、染み込む……♡

その動き、孕ませ用のちんちん、でしょ……♡

だめ、だよ……♡ 孕ませ、子作り……♡

まだ、だっめえ……♡ はっ、ふっ、うっくっ、んううおお……♡

んっおお……♡

はぁ、はぁ、はっぁぁ、ふうう……♡

ふう、ふう、ふう……♡

ど、どう……？ めいは……」

め「んうん、はぁ……。ううううん……。」

メ「……まだ、寝てるみたい……？

ま、周りの人も……。

と、とりあえず、バレてない……？

よ、よかったぁ……っ。

バレたら絶対……後で、めちゃうちにイジられてたから……。

まあ、それ以前に普通に迷惑行為だけどね……。

床、いろんなお汁でべちょべちょだし……。

ちゃんと拭かないとダメだからね？ もう……。

いい？ こんなイタズラ、めいには絶対しちゃダメだからね？

あたしは、まあ……優しいし？

寛容だから、許してあげるけど……。

だから、あたしとだけ……。

あたしとだったら、こっそり、えっち……♡

たまにはしてあげてもいいからさ……♡

めいには内緒で……また、しちやおうね♡

ふふふふ……♡」

● 11章

め「はぁい。」

いらっしやい。わざわざ家まで来てくれて、ありがとね。

参考書、取りに来てくれたんでしょ？

言ってくれば私の方からそっちに行ったのに……。

キミの家の方向なら、お買い物をついでとか、割と簡単に寄れるから。

外、暑かったでしょ。

少し中で休んでいってよ。クーラー付けてるから、涼しいよ。

冷たいお茶も用意するね。

水分補給は大事だから。熱中症は危険だもん。

ふふ、大丈夫。遠慮しなくっても平気だよ。

今、親いないんだ。

何の心配もいらないから、遠慮せず、うちに上がってー

あ……っー？ んっ、何ー？

や……っ♡ ちょっと、キミ……♡

急に、んっう……♡

っは……♡ はっ、んっ、はっあ……♡

ま、待って……っ♡ んう……♡

っはあ……♡

い、いきなり、興奮して……っ♡ どうしたの？

もしかして、親いないって聞いたから？ あは……♡

んっ♡

っはあ、はあ、んう……♡

待って、てば……♡ せめて、玄関、カギ……♡

カギかけさせて……っ♡ ん、あ……♡

ん……っ♡

んっあっ♡

っはっあ、んっう……♡

もう、女の子、押し倒すなんて……♡

こんな玄関先で……♡ やっあ……♡

おチンポ、ぐりぐり……♡ 押し付けられて……♡

すご、い……♡ ズボン越しなのに、硬いの、わかる……♡

興奮しすぎだよお……♡

やんっ、あんっ、はっああ……♡

っはぁ、んっ、んっうん……♡

あ……♡

あはっ♡

おチンポ、舐めてほしいの……？

ふふ……♡ うん、いいよ♡

わがままおチンポ、たっぷり舐めてあげる……♡

こんなに硬くなっちゃってたら、もう……♡

頭の中、おチンポぴゅっぴゅのことしか、

考えられなさそうだもんね……♡

私が手助けしてあげる……♡

んうぁ……♡

っはぁ……♡

ふふ、ちよっとしよっぱい……♡

汗、いっぱいかいちゃったんだね……♡

っはぁ……♡

すん、すん、すん……♡

っうん……♡ やっぱり、匂いも……♡

ちよっと、汗臭くって……♡ ふー……っ、ふー……っ♡

はっぁ……♡

私の好きな、おチンポの味だよ……♡

いっぱい舐めてあげたくなっちゃう……♡

んふー……♡ ふうう……♡ んっ、ふっ、ふっう……♡

はぁ、はぁ、はっぁぁ……♡

おチンポ、また膨らんで……♡

さっきまでもすっごく大きかったのに、まだこんな……♡

おチンポかっこいいね……♡

ドキドキしちゃう……♡

このおチンポになら……♡ キミになら……♡

いっぱいご奉仕、したくなっちゃう……♡

んっふ♡ ふっうん……♡

ふっう、ふっう、ふうう……♡

っはぁ……♡ んっ、はぁ、はぁ……♡

んっひ……♡ やっ、んうん……♡

おっぱいに、手……♡ っあん……♡

はっ、んっ、っううん……♡

相変わらず、揉み揉み、上手う……♡

はっ、んっ♡ 気持ちいい……♡

おっぱい、感じちゃう……♡ ううん……♡

ふっう、ふっう、ふうう……♡

ふふ……♡ ねえ……♡

そのままおっぱい揉みながら、

おチンポおしゃぶりされてたい？

それとも……キミの大好きなこのおっぱいで、

パイズリしてあげよっか？

おチンポ、乳肉でむっちり包まれながら、

にゆるにゆるお口搾り……♡

どっちがいいかな？

あはっ♡ 即答だね♡

うん、パイズリだよね♡ わかってたよ♡

じゃあ、どうぞ♡

そのまま、私の下乳におチンポずぶって入れて……♡

おチンポへこへこ、腰振りしちゃって、

パイズリセックス、しちゃってね♡

んっうん……♡ おチンポ、来た……♡

ああ、おっぱい、熱い……♡ はっああ……♡

んっ、あっ、おっぱいに、おチンポぱんぱん……♡

パイズリオナホで、乳肉交尾、始まっちゃったあ……♡

はっ、んっ、っあんっ、はあ……♡

おっぱい気持ちいい？

おっぱいに、おチンポ押し付けて、我慢汁なすりつけるの、気持ちいい？

いいよ、ほら……っ♡

おっぱいぎゅっって、圧迫して……♡

乳圧強く、おチンポぎゅっぎゅ♡

してあげるから……♡

パイズリセックス、楽しんで……♡

んっ、はあ、はっあ……♡

真っ赤になった亀さんもお……♡

っはあ……♡

たっぷりちゅうちゅう♡ してあげるからね♡

んっ、はっ、はっああ……♡

おチンポピストン、すごい勢い……♡

ホントのおまんこ相手のセックスと、ほとんどいっしょお……♡

乳肉オナホ、気持ちいいね……♡

おっぱいでおチンポ抱きしめられて、

甘々揉みくちやにされちゃうの、気持ちいいね……♡

はっあ……♡

我慢汁、どくどく止まらない……♡

おっぱいマーキング、されちゃってるう……♡

臭あいおチンポの匂い、おっぱいに染みついて……♡

俺のもの、俺のおっぱいだぞおって……♡

他の男に渡さねえぞって、伝わってきちゃう……♡

っはあ、はあ、はあ……♡

そんなに必死にならなくてもお……♡

私のおっぱいは、ちゃあんと、キミのものだよ……♡

キミ以外の男の子には触らせないし……♡

パイズリなんて、絶対させないから……♡

だから、こんなカウパーマーキングなんて、しなくても平気い……♡

っはー……っ、っはー……っ♡

さもないと、この匂い……♡

おっぱいに、キミの、魅力的なオス臭、染みこんで……♡

普段からずっと、キミの匂い……♡

おっぱいから滲み出てくるようになったちゃうからあ……♡

そんなことになっちゃったら、私……♡

正気でいられなくなっちゃう……♡

おっぱいから昇ってくるキミの匂いで……♡

キミのおチンポ臭でえ……♡

一生、発情しまくることになっちゃうからあ……♡

だから、おチンポマーキング、だめえ……♡

そんなに匂い、染みつかせないでえ……♡

ほら、ほらあ……♡

もう我慢汁出てこないように、もっと乳圧♡

強くしちゃうからあ……♡

出すなあ……♡ カウパーお漏らしするなあ……♡

だあめ♡ だあめ♡ オス汁お漏らし、だあめ……♡

あっああん……♡ ダメだって言ってるのに……♡

パイズリ交尾っ、激しっ♡ やあんっ♡

んっ、はっ♡ やっあ、んっあん……♡

んもう、仕方ないなあ……♡

いいよ♡ 許しちゃう♡ おっぱいに、おチンポに匂い♡

おチンポ臭まみれにするの、許してあげちゃうね♡

だからいいよ♡ 出して……♡

おっぱいに、ザーメンどっぶん……♡

くさあい子種汁♡ パイズリ射精……♡

おっぱいに中出し、しちゃっていいよお……♡

ほら、出して、出して、出してえ……♡

おチンポどうぞ♡ 乳内射精♡ おっぱい中出し♡

イカ臭サー汁マーキング♡ して♡ してえ……♡

おっぱいに出して♡ 出して♡ 出してえ……♡

出してくださあい……♡

んうあ……♡

んっっううん……♡ んっっうっ、くっっうん……♡

やあ……♡ おっぱいの中っ、すごい勢い……♡

んっ♡ やっ、あっあん♡ はああん……♡

ふっう、ふううっ、くっうっ、あああ……♡

どくどく、いっぱい……♡

精液たくさん、漏れ出てくる……♡

ふっ、んっ、はっあ、はっあん……♡

ふー……っ♡ ふー……っ♡ ふううう……♡

はっあああ……♡

はあ、はあ、はあ、ふー……♡

すごい、いっぱい……♡ どろっどろの精液、たくさん出たね……♡

ああ……♡ 思った通り、すごい匂い……♡

この精液臭……♡ もう二度と、

おっぱいから取れなくなっちゃう……♡

私のおっぱい、一生、キミのモノお……♡

はあ、はあ、はっあ……♡

でも……♡ まだ、あるよね……？

もう一つ、キミのモノにしておかないといけないところお……♡

ほら、こ・こ……♡

私のおまんこ……♡ 今、空っぽだよ……？

おチンポ汁、いっぱいになるまで注いでおかないと……♡

また、どこの誰に奪われちゃうか、わからないでしょ……？

だから、ね？

おチンポ入れて……♡

硬いおチンポ奥まで入れて……♡

おまんこいっぱい……♡

子宮、ぱんぱんになるまで、また、たくさん……♡

熱々ザーメン……♡ どくどく、注いでー

え……？

あ、あれ？ 電話……私？

あ、メシアからだ……。

もしもし？」

メ「あ、めい〜？

今何してる？ 暇ならさ、今日も遊ばない？」

め「あ……。ご、ごめんね、メシア……。

今は、その……。ちょっと、手が離せなくて……。

っお……。っー？

んっいいい……。っー？

おっ♡ くっ、んっおお……っー?」

×「……めい?

どったの? 今、なんか……。」

め「な、何でもない、よ……っ。

ちよっと、あ、足……っ。小指、ダンスにぶつけちゃって……っ。

ちよ、ちよっと……♡

お話中に、おチンポすっぶんなんて……♡

あっ♡ やっ、だめ……♡

おチンポぱんぱん、する気、まんまん……っ♡

おおっおお……っ♡

んっ、おっ、んっおっ、んっっうう……♡「♡

×「めい……?

なんか、今忙しい感じ?

いっしょに遊べないって事でいい?」

め「う、うん……っ♡

ごめんね♡ ちょっと、今は……♡

んっあ……♡

今日は、ちよっと、無理……っ♡ かな……♡

んっうん……っ♡

お話ぐらいは、平気なんだけど……♡

おっ、くっ、んっくっ、っおお……♡「

メ「んう……？」

なんか、変な声しない？

気のせい？

もしかしてだけど……あいつ、いる？」

め「う、うん……♡ 一人だよ……っ♡

メシアの気のせいと思うよ……っ♡

うっあ……♡ んっ、くっ、ふっあ……♡「

メ「そうかなあ……？」

なんか、変な音とか、聞こえるような気も……」

め「そ、そんなこと……♡

んっうっ！？」

め「おおっおおっおお……っ♡

奥っ♡ 子宮っ♡ おチンポっ、ぐりいってえ……♡

それダメっ♡ それダメっ♡

電話中なのに……っ♡

おっおお……っ♡ えっちな声、いっぱい出ちゃう……♡

メシアに聞かれちゃうから……♡

キミと、抜け駆けえっちしてるの、バレちゃうよ……♡「♡」

メ「めい？ おゝい、めいゝ？

あれ？ 電波悪い？

もしもゝし。声、届いてるゝ？

聞こえてますかゝ？ めいちゃん」

め「も、もしもし……？

ぐゝ、ごめんね……っ♡ 今、変になってたね……♡

外で工事とか、してるせいかも……♡

おっおお……♡「♡」

メ「そうなの？

んゝ、遊べないんなら長電話でもするかって思ったけど……。

諦めるかなあ……。」

め「うん♡ ごめんね、メシア……♡

っああん……♡ おっ、うつ、っおおお……♡「♡」

め「おっ♡ おっおおお……♡

だめっ、だつめ……♡ おチンポ、強い……♡

うっ♡ おっ♡ イグっ、イッグ……♡

おまんこっ、イッちゃう……♡ んっうおおお……♡」

メ「じゃあ、明日はどう？

明日また、いっしょにどっか遊びに行こうよ。

あいつも誘ってさあ。

ああでも、あいつがいると、

またどこでえっちなことするか、わかんないなあ……。

えっちするのは気持ちいいんだけど、

外でしたりするのはねえ……。

あんまりよくないよねえ？」

め「う、うん……♡ それは、もちろん……♡

っおお……♡

彼は、いい人だけど……♡

ちょっと、っおお……♡ おチンポ♡ うっく……♡

おチンポ♡ 元気すぎて……っ♡

おっ、おっ、おチンポ好き……♡ 好き、だけど……♡

うっ、おっ、イック……♡ ほっお……♡

いくらなんでも、ね……♡ っああ……♡」

め「おっ♡ おおっ♡ イクイクっ、イック……♡

んっおっ、イグイグっ♡

おまんこイッグ♡ イッグっ、イッグっ♡ うううう……♡

メシアにバレるっ♡ おまんこアクメでっ、バレちゃう♡

うううう……♡」

メ「だよねえ。あははっ。

まあでも、あいつといっしょの方が、

なんだかんだで楽しいし、やっぱり誘っちゃおっか。

それじゃあまた明日、三人でどっか、

遊びに行こうね。

どこに行くかは、まあ……後で考えておくから。

あいつにも電話かメールかしておくね」

め「う、うん……♡

お願い、ね……♡ つおお……♡

じゃあ、また、明日あ……♡

んっお、イック、イック……♡

明日、お出かけ……♡ イク、からね……♡

っおおお……♡ イッグ、イッグ……♡」

×「うん、また明日。

そんじゃあねえ」

め「っおおおっっおおお……♡

イッグっううう……♡

んうおおおっおお……♡

ほっおおおっ、うっおおっおおお……♡

んうおおお……♡ ほっ、ほっ♡ おっおおっ、んうっおお……♡

ふっう、ふっう、くううっ、おっおお……♡

はっ、はっ、はっああ……♡

き、みい……♡ ひどい、よ……♡

今のは、さすがに……♡

最後、絶対……♡ イキ声、聞かれてた……♡

メシアにバレちゃったよ……♡ 私たちが、えっちしてるの……♡

本当に、キミってば……♡

えっちしてる時は、イタズラ、好きだよね……♡

普段はすごく優しくして……♡ 頼れる人なのに……♡

もう……♡ ふー……、ふー……♡

だあめ……♡

謝っても、許さない……♡

許して欲しかったらあ……♡

もっといっぱい……♡ おまんこ、イカせて……♡

キミのおチンポで、おまんこ、たくさん……♡

気持ち良くしてね……♡

おおっおおお……♡

んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひいっ、っおお♡

んおう、んつく、くお……っ♡

ほおっ、んんお、つくお……っ、んうっ、おおん♡

うん、おんっ、おっ、んお、おお……っ♡

おおおおおっ、んんっ、おっほおっ、おおっうっうっ♡

おおっ、っううんっ、っんうんっ、んんうおおんっ♡

んっううん……♡

はっ、あぁっ、あはぁ……♡

やっぱりっ、喘ぎ声って……♡　っお……♡

思う存分っ、いっぱいっ、出した方が……っ♡

気持ちいい……♡

ひい、おほお、ううおっ……♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っお……♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう……♡

んっ、っうっ、っおっ、っんっ、んおおっ、うっ、っうっ♡

おっ、おおっ、うっ、っんっ、んおおっ、おおっんっおおおっ♡

んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ♡

んうっお♡　うっくっ、んっお……♡

おっんっ、っおおっ、おうっ、っうっ、おおおうっ♡

っんっ、んっ、っおっ、おおんんおおおっ♡

うっ、おっ、んっううん……♡

だから、もっと……♡　もっとちょうだい……♡

もっといっぱい、大声、出せちゃうように……♡

キミの強いおチンポ♡　たくさん、奥う……♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ♡

んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん……っ♡

んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おおんっ♡

うん、おんっ、お、おっ、おんっ、ゃんっ、おお、うおんっ♡

おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふお……っ♡

おチンポっ♡ 強いっ♡ んっおっ、ほっお……♡

上からっ、子宮……っ♡ 叩き込まれる……♡

んっおっ、うううう……♡

あっ、これっ、あはっ♡

種付けプレスとかいう……♡ うううう……♡

孕ませ用のっ、格好だぁ……♡ んっあぁぁ……♡

キミのっ、本気っ、感じちゃう……♡

中につ、子種汁っ、叩き込むぞおって……♡

オスのっ、交尾い……っ♡

おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお……♡

お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう……っ♡

んお、んふう、うう、うお、おう、んう、ん、んっく♡

くう……んんんう……♡

へっ、はっ、んっおっ、くっうう………♡

はっ、はっ、はっ、んう………♡

んおっ、ん、んお、おん、おお、おん、おおんっ♡

んぶ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん………♡

ん、んお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

おおっ、んっ、んぐっ、んう、んっ………♡

おんっ、いや、おん、おんっ、おう、うんっ、お、んっ♡

んっ♡ んっ、んっううん………♡

おチンポっ、奥っ、くっついて………♡

離れない………♡ ずっと、おチンポと、子宮、ぶっちゅうって………♡

おっ、おっ、んっお………♡

もっ、だめ………♡ イグ………♡

またっ、イグ………♡ うっおお………♡

種付けプレスでイカされる………♡

キミの赤ちゃん仕込まれてっ、おまんこっ♡

幸せアクメ、来ちゃうっ、来ちゃう………♡

んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ♡

ん、おん、ほお、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おおんっ♡

おお、おん、うん、うつふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ、
うつおおっおおお……♡

はっあ、んっあ……♡ 出してっ、出してえ……♡

奥につ、キミのっ、赤ちゃん汁……♡

熱いのっ、濃いなのっ、どっぶり出してえ……♡

うっううおお……♡

種付けプレスでっ、逃げ場のないっ、強制種付けえ……♡

赤ちゃん孕ませ交尾で……♡ 気持ち良くっ、してえ……♡

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ♡

んっふ、おお、おお、おおん、んおん……♡

んっうおっ、おっふ、つくうう、んうあああ……♡

んいっ、んっひい……♡

へあっ、ふあっ、あっふ、んういい……♡

んっ、おおおおっうっ、うっ、っおっ、おうっ、んんっ♡

っおっ、おんんんっおおお……♡

っおおっおお……♡ んっおっ、くうっ、ほっおお……♡

んいぐっ、イッグっ、ほっおおっ、イグううう……♡

んいぐっ、イックっ、んっおおっ、くうううう……♡

んんっうっ、おおおっんんっ、んおおおっ♡

っうっ、おおっ、おうっ、っんんおおおっんんおおっん♡

おっ♡ おっ、っおおおっ、んうおおおお……♡

んっうううん……♡

んっおおっおおお……♡ うっくっ♡ うっおお……♡

はっ、あぁっ♡ 出てるっ♡ んっいい……♡

精子っ、いっぱい……っ♡

っおおお……っ♡ おチンポっ、どちゅん……っ♡

だ、め……♡ 出しながらっ、ピストン……♡

精子っ、出しながらっ、おチンポっ、どちゅん……♡

これっ、ホントに……っ♡ 孕ませるぞって……♡

んっうう……♡

キミっ、本気……っ♡

私っ、これっ、ホントに……っ♡ 孕んじやいそ……っ♡

くううう……っ♡

んっおっ♡ おっ、ほっおっ、うっくう……♡

ふー……っ♡ ふー……っ♡ ふううう……っ♡

ふふ……♡ んふふふ……♡

っはぁ……♡ あぁ、すごかった……♡

キミ……えっちする度に、上手になってない？

何度も何度もイカされて……♡

おまんこの奥まで、キミの熱いの、いっぱいになっちゃった……♡

もしかして……メシアにもこんな、

おチンポメロメロになっちゃうようなこと、

しちゃってるんじゃない？

ダメだよ？ そんなことしたら……♡

さっきの電話中のイタズラえっちもそうだけど……♡

ああいうのは、私にだけ……ね？

約束だよ……？

私なら、キミが望むこと……なんだってしてあげるから♡

ね……？ ふふふふ……♡「♡」

● 12章

め「……ということだから……。

なんか、ごめんね？

隠すようなことしちゃって……。」

メ「うん、まあ……。

別に、怒ってる訳じゃあないけどお……。

電話中に急に喘ぎ声聞こえてきて、

イクイクイク♡なんて叫ばれたら、

びっくりするってことは、覚えという欲しいな。」

め「うん……。ホント、ごめんね……。

バレてるだろうなあ、とは思ってたんだけどね。」

メ「逆にあたしも、

バス中であたしとあいつがえっちしてるの、
バレてるとは思ってなかったなあ……。」

め「まあ、小声でしてるっぽかったけど、

あんな真隣でしてたら、さすがにね……。

眠たかったのは本当だし、狸寝入りっていうほど、

ハッキリ起きてたわけでもないんだよ？

ただ、ぼんやり、ああ、ヤッちゃってるんだあって、気付いてただけ

で……。」

メ「うーん……。

ねえ、うちらこれ、ちょっとヤバくない？

あの時、あいつとえっちしちゃってからずっと、

エロマンがよりも過激なこと、しまくっちゃってるよ？

あっちこっち行く度にえっちして……。

たぶん、今日も……でしょ？」

め「まあ、どこのエロ同人だ、って感じだよね。

ふふ……。

なら……メシアはやめちゃう？」

メ「え……。

いや、あたしはそんな……。

やめたって言うてる訳じゃあ……。」

め「あはっ。

なあんだ。やっぱりメシアもしたいんじゃない。

スケベなんだあ。」

メ「なあっ!？」

すっ、スケベはそっちだろおっ。

こんなことになった原因は、めいにもあるんだからっ。

そ、それに……。

あたしはただ、えっちなことしたいっていうんじゃない……。

あいつとなら、っていうか……。

もっと言うと、めいといっしょに……

ω人するのが一番いいかなあって、思ってた……。

だから別に、スケベとかじゃあ……。」

め「ほほう……。なあるほど……。

ふふふ……。彼も私も、メシアちゃんからは愛されてますなあ。

ああ、かわいいかわいいメシアちゃん。

お顔が真っ赤ですよ♡」

メ「なっ、なんだとおっ。

なんだよその顔っ。にやにやするなっ。

きもいぞっ、このこのっ。」

め「あいたっ。

蹴ったなあっ。ひどいっ。

えいっ、えいえいっ」

メ「こらっ。やりかえしてくんなっ。

そりゃっ、どりゃっ」

め「えいっ、やあっ。それぞれえっ」

メ「このっ、このっ、これでどうだっ」

め「……あっ、キミっ。

やっと来たっ。

メシアのこと抑えといてっ。

お仕置きしてやるからっ」

メ「こっちの台詞だったのっ。

おっぱい大きいからって、調子に乗るなよおっ」

め「こんのお……っ。

ちよっと小っちゃくってかわいいからってえっ。」

×「背が高くくてきれいなぐらいで姉さんぶるなあっ」

め「ばかばかっ、ばあかっ♡」

×「そっちこそばっかっ♡」

め「いのっ、いのっ、いのっのおっ♡

ん「♡……♡♡♡♡♡」

×「とっっ、どりゃっ、ええやあっ♡

ん♡♡……♡♡」

● 13 章

め「ふふふ……♡

それじゃあ今日は、私たちが、キミのオナニー、
見せてもらうってことだね……♡」

メ「でも、ただ見てるだけじゃあないよ……？」

キミのオナニーのお手伝い、してあげるってこと……♡」

め「キミが自分でおチンポしこしこしていくて……♡

精液びゅーって出すまでの間……♡

ここで私たちが、オナニーのお手伝いしてあげるからね……♡」

メ「オナニー、がんばってね……♡

いっぱい応援してあげるからね♡

んふふ……♡」

め「はあい、それじゃ……♡

おチンポしこしこ、してみよっか……？」

メ「あたしたちが耳舐めで、いっぱい気持ちよく、

してあげるから……♡

ちんちんいっぱいしこしこして、

ザーメンたっぷり、出しちゃってね……♡」

め「行くよ……♡

お耳……いただきまあす……♡」

メ「ほら、ほら……♡

ちんちん、いっぱいしこって……♡

気持ちいいお汁、たっぷり出しちゃお……♡」

め「左右からむぎゅって挟まれて、

お耳ねっとり舐められて、

おチンポしこしこ見てもらえるの、

最高だねえ……♡」

メ「ちんちんどんどんガチガチになっちゃうね……♡

キンタマの中身もどろっどろの濃厚になっちゃって……♡

出す時気持ちいいよお……♡

濃すぎて固まった、ゼリーみたいなザー汁出すの、

すんごく気持ちいいよお……♡」

め「ほら、ほら……♡

もっとおチンポいっぱいしごいちゃお……♡

私たちに見せつけて……♡

キミのかっこいいオナニー、たくさん見せて……♡」

メ「熱々精液出すところまで、じっくり見てあげるからね……♡

びゅーびゅーたっぷり、キンタマ空っぽになるまで、

ぜーんぶ出し切っちゃおうねえ……♡」

め「ガチガチおチンポかっこいい……♡

耳舐めで勃起して、おチンポしこって大きくなって……♡

どんどんギンギンのオスチンポになってくね……♡」

メ「あたしたちの、だあい好きなちんちん……♡

このちんちん以外、ありえない……♡

触るのも、ハメるのも、もちろん見るのも大好きだよ……♡」

め「キミのおチンポのことなら、全部好き……♡

しこしこ大好き♡

フェラもパイズリも、ばこばこハメハメも大好き♡

だあい好きだよお……♡」

メ「好き♡ 好き♡ すうき♡ だあい好き……♡」

め「そろそろ出ちゃいそう？

うん、いいよ♡ おチンポどっぴゅんしちやおっか♡」

メ「私たちにちんちんオナニー見られながら、

ザーメンどびゅうってしちやおうね……♡

熱々キンタマミルク、どっぷりびゅっぴゅ♡

しちやおうねえ……♡」

め「ほうら、もっといっぱいおチンポしこって……♡

しこしこしこしこ、おチンポ気持ち良くして……♡」

メ「出ちゃうね♡ 出ちゃうね♡

いいよお、出してえ……♡

熱いの出して♡ たくさん出してえ……♡」

め「おチンポお射精、どうぞお……♡」

メ「ちんちんお射精、どうぞお……♡」

め「ぶっぴゅー……♡ ぶっぴゅー……♡

どびゅ、どびゅ、びゅる、びゅっふう……♡」

×「どっぴゅん♡ どっぴゅん……♡」

どびゅどびゅ、びゅるるるう……♡

ぶっぴゅ♡ ぶっぴゅう……♡」

め「はあい……♡ たっぷり出たね♡

おチンポ気持ち良かったねえ……♡」

×「またいつでもオナサポしてあげるからね♡

ちんちんスッキリしたかったら、

いつでも言ってね♡」

め「キミからのおねだり、待ってるからね……♡」

×「んふふふふ……♡」

● 14 章

め「はあっ、はあっ、んっあっ、はっあああ……♡」

メ「ふー……っ、ふー……っ、ふっ、ふっ、ふーう……っ♡」

め「今日は、おチンポオナニーの、お手伝い……だったっけ……？」

メ「そっかあ……♡」

でも、どうしよっかなあ……♡

今日は、あたしたち、んっく……♡

めちやめちやおまんこ、発情しちゃってるんだよね……♡」

め「仕方ないから……いっしょにオナニー、

しちゃおっか……♡

私たちのオナ声、喘ぎ声、聞きながら……♡

いっぱいおチンポ、しこっていいよ……♡」

メ「本気のがちオナ……♡

マジの喘ぎ声、聞かせてあげるからね……♡

いっぱいちんちん、イッていいからね……♡

始めるよ……♡

オナニー……っ、スタートお……♡」

め「ああんっ、んっ、うあんっ、あんっ、あんっ、あんっ、んっ、うんっ、
んっ、うああんっ、ああうんっ、ああんっ、あうう……っ♡」

メ「あああうんっ、うんっ、うんっ、んっ、ああんっ、うんっ、あうん
っ、んっ、あんっ、んっ、うんっ、んっ、っくう……っ♡」

め「っあああ……っ♡

おまんこ気持ちいい……♡

おまんこっ、指ぐちゅっ、気持ちいい……♡

へっ、はっ、ふっ、んっくう……♡」

メ「おまんこオナニー気持ちいい……♡

おまんこいじりっ、大好きだよお……♡」

め「んっ……んあ、あん、んっ、あ、ああ、うっっ、うん、あん
あんっ、あ、あっ、うん、んっ、んっく、んっふ……」♡

メ「あはあっ……ああんっ、あんっ、いや、やん、んあう♡
あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……」♡

め「はっ、はっ♡

キミのオナニ―おかずに、おまんこオナニ―……っ♡
勃起おチンポ見ながら、キミとのセックス妄想して、

おまんこいじりい……♡」

メ「キミとハメハメしまくる妄想止まない……♡
キミのちんちん、子宮にずぼずぼしてもらっの、
妄想でも、最高すぎ……♡

指ぐちよ、止まんね……っ♡ うっお……っ♡」

め「んあっ、あん、んくっ、んうっ……♡

んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、あっ、あっ……♡」

メ「んっ、あん、んあ、あっく、んっく、いや、んあ、んあっ♡

あっん、んうっ、んあ、んあう……♡」

め「おチンポすっごいデカくなってる……♡

耳元オナ声、興奮してくれてるんだ……♡

うん、うん♡ ありがとう……♡

もっと見て……♡ もっと見て……♡

ドスケベオナニー、いっぱい見て……♡」

メ「びっちょびちょに濡れてるおまんこ♡

どろどろ愛液垂れ流してるおまんこ……っ♡

ちんちん欲しくて、腰カクしちゃってる変態まんこお……♡

いっぱい見ながら、ちんちん、しこってえ……♡」

め「んっ、ああ、ああんっ、あんっ、いや、やん、んあう♡

んあっ、んあうっ……♡」

メ「うっく、うぐ、うあ、うあん、あん、はあっ♡

あう、あん、あんっ、あはあっ……♡」

め「うっおおお……♡

おおおっ、っんんおっ、おおおおっ、おうっ♡

おおおっ、んっおっ、おんんっおおおっ、っんん…っ♡「♡」

メ「んうおお……♡

んっ、んっうっ、おっ、っんっ、おっ、おおっ、っうっ♡

んんっ、っおおんっ、んっ、おっ、おおっ、んうおお……っ♡「♡」

め「へっ、はっ、オナニー、気持ちいい……♡

うっくっ、うっおっ、んうおおっ、

くっうん……♡「♡」

メ「っあああっ、っおおおお……っ♡

エグい声出ちゃうう……♡

ちんちん目の前で見ながらオナニー、

気持ち良すぎて、ヤバすぎだよお……♡「♡」

め「はっ、ふっ、はっ、はっああ……♡

ハメたい、ハメたい……♡

おチンポハメたい……っ♡

キミのおチンポ、好き好き、好き……♡「♡」

メ「おまんこ**ずばずば**じてほしいよ……♡

ちんちんずっぷり突っ込んで、子宮ほじり……♡

生ハメ中出しで、孕ませアクメ、キメたいよお……♡」

め「んっ、っうっ、おっ、んんんっおおおっ、っおおおっ♡

っうっ、おおおっうっ、んんおおおっんんっ、んお……♡」

メ「おおっ、おおんんっおおおっうっ、うっ、っおっ、おおおっうっ♡
んんんおおおっんっ、んおっ、おっ、おっんん……♡」

め「っおおおっ、んっおおっ、イッグっ、いっくう……♡

おまんこイクっ、おまんこイック♡

うっおおお……♡」

メ「イクよっ、イグっ♡ おまんこイグからっ♡

キミもおチンポっ、出して、出してえ……♡

射精してっ、ザーメン出してえ……♡」

め「キミのザー汁臭嗅ぎながら、おまんこイグから……♡

キミもっ、おまんこオナニーアクメ見ながら、おチンポイッてえ……♡」

メ「出して、出してっ♡ たっぷり出してえ……♡

おチンポびゅーびゅー……♡」

め「はっ、はっ、はっ、はぁぁぁぁぁ……♡

おまんこ、気持ちいい……♡

くううつ、ほおおおお……♡」

メ「精液どっぴゅん、かっこいい……♡

おまんこアクメ、びりびりしながら……♡

ちんちんお射精見るの、最高お……♡

はー……っ、はー……っ、はっぁぁぁ……♡

あは……っ♡」

め「ふう、ふう……♡

ふふふ……♡ いっしょにオナニーするの、

すっごく気持ち良かったね……♡」

メ「また今度も、いっしょにオナニー、してみよっか……♡

今度はおもちゃ使って、もっとエグいのとかさ……♡」

め「その日が来るのは楽しみだね……♡

待ってるからね……♡

ふふふふふ……♡」

め「はあい♡ 朝ですよ♡

起きてくださあい♡ ふふふ……♡

ほら、何してるの？

ママみたいに起こしてくれって言ったのはキミだったでしょ？

だからこうして起こしてあげたのに……起きてくれないなんて、

ひどいなあ♡

今すぐ起きてくれたら、いっぱいご褒美あげちゃうのに♡

とっても優しく、気持ち良く……♡

キミの好きなこと、なんでもしてあげちゃうよ？

だからほら、起きてくださあい♡

お布団から出て、私といっしょにいらすと……しましょ？

「♡……♡♡♡♡♡」

メ「起〜き〜ろ〜っ♡ あはあっ♡

いつまで寝てんだあ？　こんにやろうめ♡

あたしのこと放っておいて、ぐーぐー眠ったままなんて、

許されると思ってんの？

あたしは別に？　キミがいなくたって問題ないけどさあ……♡

キミがどうしても、あたしといっしょにいたいって言うから、

こうして起こしてあげてるんだよう？

だから、ほら♡　早く起きてよ♡

いっしょに遊ぼ？　楽しいこと、いっぱいしちやおうよ♡

さあさあ、起・き・て♡

おはようのちゅー、してあげるからさ♡

んひひひ……♡」

◆
3

め「はあい、起・き・て♡」

×「ほら、起きなさあい♡」

め「ふふふ……♡ さあ、楽しい朝の始まりだよ？

今日も二人で、いっしょに気持ちいいこと、するんでしょ？」

×「朝から女子二人に起こしてもらえる幸せものめ♡

とっと起きないと、バチが当たるぞ？」

め「それとも、いっそのこと、いっしょのお布団で寝ちゃおっか？

それも楽しそうだよねえ♡」

×「いやいや、ダメだって♡

やることやるなら、ちやあんと起きてからしなきゃ♡ だから、さあ♡」

め「さっさと起きて、いっしょに遊ぼ？」

「♡……♡♡♡」

×「さっさと起きて、いっしょに遊ぼう？」

「♡……♡♡♡」